

I 焼津市のすがた

1 位置と地勢

本市は静岡県のほぼ中央、さらに東京と名古屋の中間に位置し、東は駿河湾に臨み、西は藤枝市と島田市、南は大井川を挟んで吉田町、北は高草山（501m）、花沢山（499m）などの丘陵部を境に県都静岡市と接している。

市の面積は70.30km²であり、県総面積に占める割合は0.9%と小さく、南北に細長い形状をしており、駿河湾に臨む15.5kmの海岸線を有している。

また、市北部には、高草山をはじめとする山々があるが、南は海岸線に沿って平坦な志太平原であり可住地面積割合は約94%となっている。

気候は、年間の平均気温が概ね18℃前後と温暖であり、冬場でもほとんど降雪がなく一年を通じて過ごしやすい地域である。

本市は、県管理の特定第3種漁港である焼津漁港と市管理の地方港湾である大井川港の2種類の港を有し、港と共に発展してきた。

また、JR東海道本線の「焼津」と「西焼津」の2つの駅と東名高速道路の焼津インターチェンジ及び大井川焼津藤枝スマートインターチェンジを有し、幹線道路である国道150号が市域の南北を通過しているなど交通の利便性に優れ、さらに富士山静岡空港からは、市域のほとんどが20km圏内に位置するなど広域交通ネットワークが充実している。

2 歴史

「焼津」の地名は、古事記や日本書紀によると日本武尊が東夷征伐の途中、当地で賊に襲われ、野火により焼き殺されそうになった時、向火を放って難を逃れたので焼津と呼ぶようになったとされる。

焼津は江戸時代には湊を利用した廻船業が発達し、明治に入ると動力船が八丈島まで漁場を求めるようになった。明治末期から焼津港築港の動きが始まり、昭和26年に陸地を掘り込んで造られた焼津港内港が完成すると、漁業はますます盛んになり、国内最大級の遠洋漁業の基地として、全国に知られるようになった。

また、「大井川」の名は日本書紀にみることができ、水を集めて流れる大きな川という意味とともに、偉大なる川、偉大なる流れという意味もある。

大井川は江戸時代初期には現在の川筋に定まり、今日の散居集落の原型が形成された。その後は田沼街道沿いに人家の集積が進み、海岸沿いには漁村が形成され、農漁村の基礎が形づくられた。

焼津市は、明治22年に市町の元となる村が誕生し、昭和26年に市制が施行され、昭和32年までに隣接する町村を編入しながら形成されてきた。

そして、平成20年11月1日に大井川町と合併し、現在の焼津市となっている。

3 市政のあゆみ

昭和26年	県下12番目の市として市制を施行	平成16年	焼津市駿河湾深層水利用促進交流施設（深層水ミュージアム）完成
// 29年	第五福竜丸ビキニ海域で水爆被災		第4次焼津市総合計画策定
// 35年	焼津港が特定第3種漁港の指定	// 17年	東益津小学校・公民館複合施設完成
// 36年	市議会が「平和都市宣言」を決議	// 18年	大村公民館・さつき幼稚園が完成
// 52年	県下で7番目の10万都市となる 豪州ホバート市と姉妹都市提携 市営野球場が完成 第1次焼津市総合計画策定	// 19年	焼津小泉八雲記念館が完成
// 53年	スポーツ都市宣言 土岐市とスポーツ姉妹都市提携	// 20年	焼津市勤労会館が完成
// 56年	健康の拠点、保健センターが完成	// 21年	第24回国民文化祭しずおか2009開催
// 58年	市立総合病院が移転開院	// 22年	焼津平和賞創設
// 60年	文化センターが完成 第1回第五福竜丸事件6・30市民集会を開催 魚食普及基地さかなセンターが完成 第2次焼津市総合計画策定	// 23年	第5次焼津市総合計画策定
// 62年	西焼津駅が完成	// 25年	教育委員会事務局が教育部と生涯学習部の2部体制に移行
平成 3年	総合体育館が完成	// 26年	こども未来部を新設しこども政策を一元化
// 6年	第3次焼津市総合計画策定	// 27年	和田幼稚園閉園 オリンピック・パラリンピック対策準備室が新設
// 7年	戦後50年平和祈念式典	// 28年	大井川焼津藤枝スマートインターチェンジが開通
// 9年	ディスカバリーパーク焼津が完成	// 29年	教育センター設置
// 11年	消防防災センターが完成	// 30年	和田地域交流センター「わかしお」が完成
// 13年	第21回全国豊かな海づくり大会開催	令和 3年	花沢地区ビジターセンターリノベーション完成 ターントクルこども館開館 市役所新庁舎開庁 教育委員会事務局が新庁舎に移転
// 15年	総合福祉会館が完成 第58回NEW!!わかふじ国体開催 (相撲、高校軟式野球)	// 4年	GIGAスクール推進室設置
		// 5年	教育委員会事務局が教育部と学校福祉部の2部体制に移行

4 市の人口・世帯数

人口 134,668人 (令和7年3月末日現在)
世帯数 60,836世帯 (令和7年3月末日現在)

Ⅱ 教育委員会

1 教育委員会

焼津市教育委員会は、法令に基づき、教育長及び4人の委員で組織されている。会議は、毎月1回定例会が、また、必要に応じて臨時会が開催され、これによって所管の学校やその他の教育機関（地域交流センターを除く）の管理、学校教育施設に関する全般的な事務、社会教育・学術に関する事務の管理・執行等について、焼津市の実情に即した教育行政が推進されている。これらの教育事務を処理する教育委員会事務局は教育長の指揮監督のもと組織され、それぞれの事務（公立幼稚園に関する事務は、こども未来部で補助執行）を分掌している。

2 教育長及び教育委員



教育長 羽田明夫



教育長
職務代理者 増田紀子



委員 増田徹哉

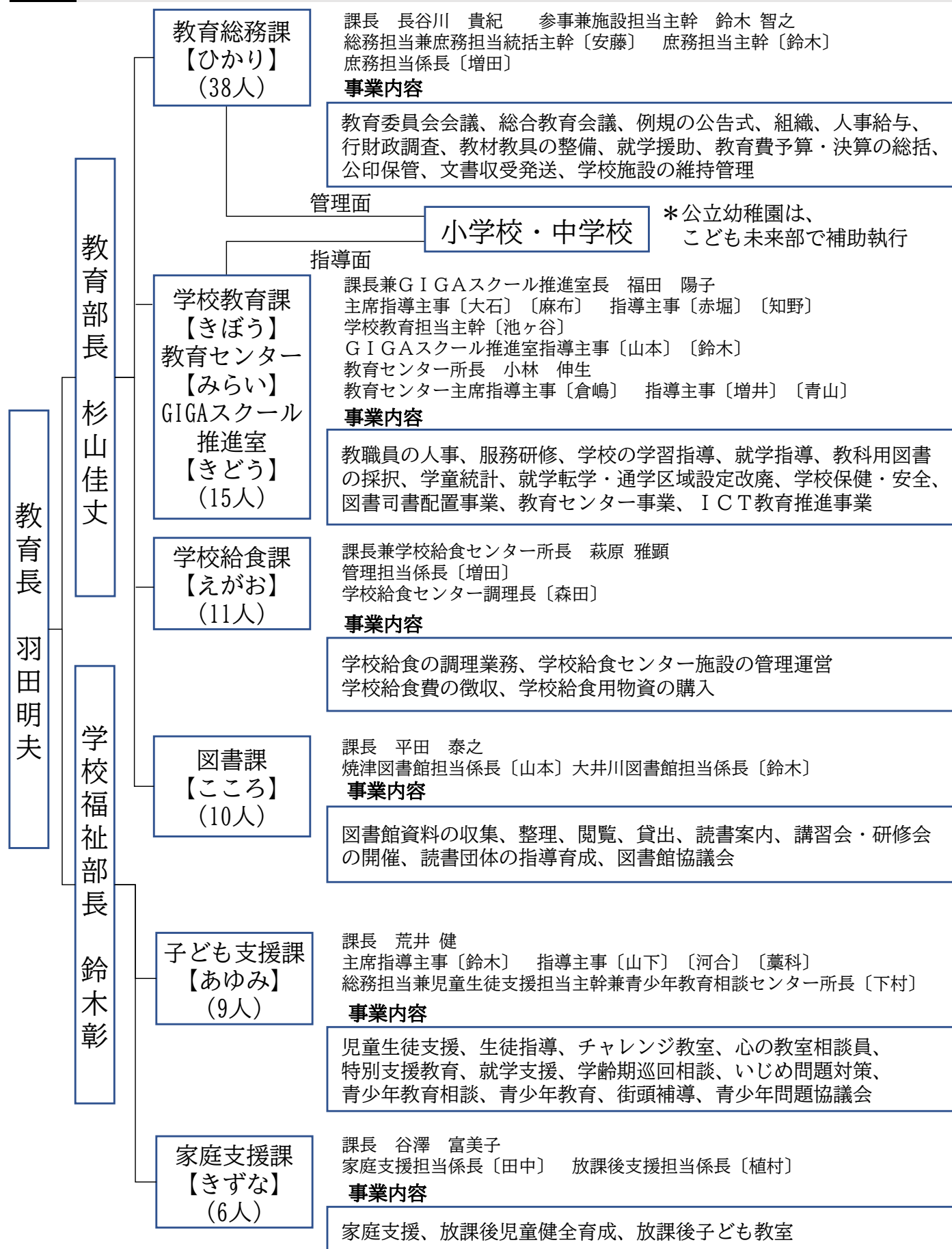


委員 外山敬三



委員 古谷光子

職 名	氏 名	任期期間 (現在の任期を含む)
教 育 長	羽 田 明 夫	令 2. 4. 1 ~ 令 7. 9.30
教 育 長 職 務 代 理 者	増 田 紀 子	令 3.10. 1 ~ 令 7. 9.30
委 員	増 田 徹 哉	令 4. 4. 1 ~ 令 8.10. 6
委 員	外 山 敬 三	令 5.12. 3 ~ 令 9.12. 2
委 員	古 谷 光 子	令 6.10. 1 ~ 令10. 9.30

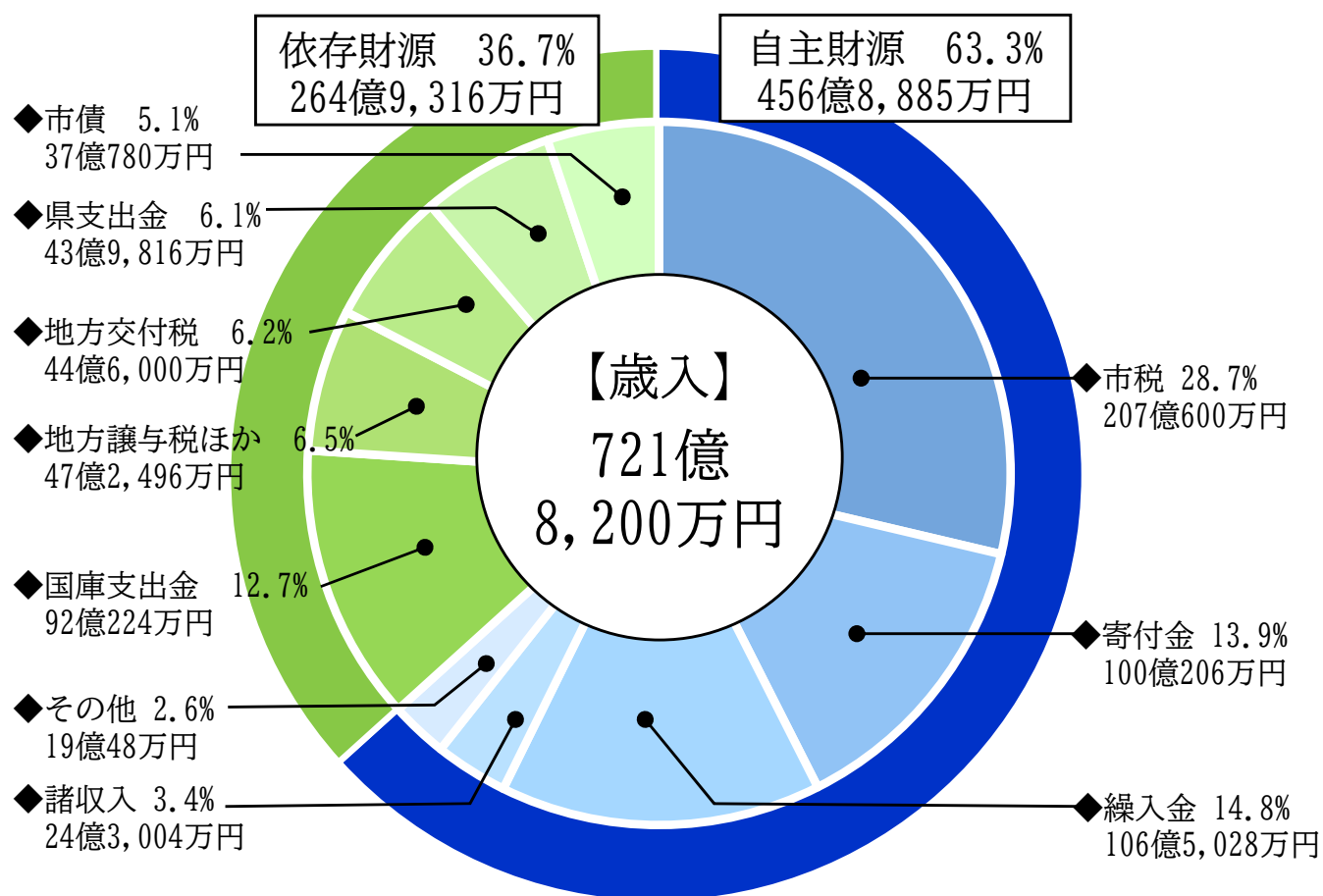


※課名等の後の【】内は課名等の愛称

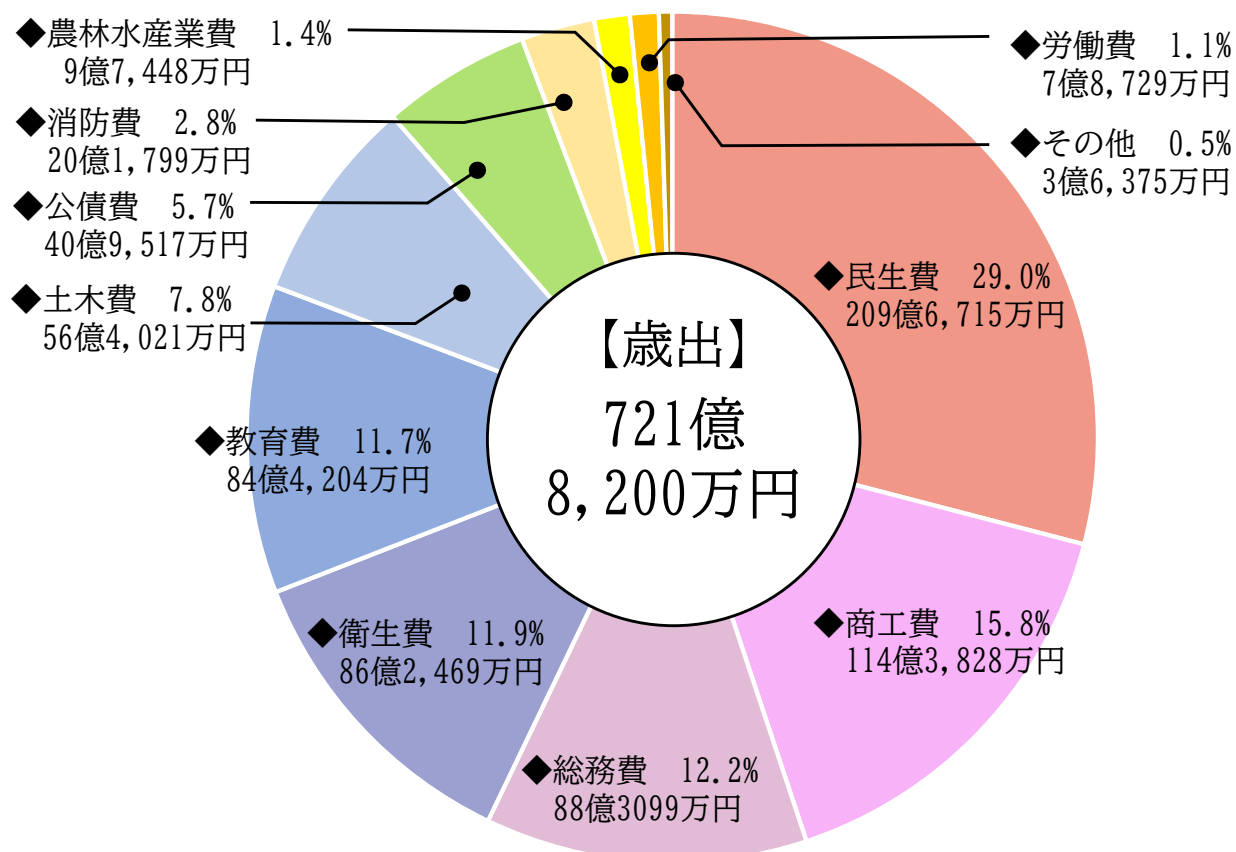
※社会教育に関する事業、文化財保護に関する事業、芸術文化振興に関する事業、文化会館・ディスカバリーパーク焼津の管理運営及びスポーツ振興に関する事業は、生きがい・交流部で執行

4 令和7年度 一般会計予算

【一般会計 歳入】



【一般会計 歳出】



5 令和7年度 教育費予算

(単位：千円)

款項目	令和7年度	令和6年度	比較	本年度予算額の財源内訳			
	予算額	予算額		特定財源			一般財源
				国庫支出金	市債	その他	
【10】教育費	8,442,040	7,387,699	1,054,341	483,632	1,735,600	1,868,921	4,353,887
1 教育総務費	1,108,464	1,044,707	63,757	16,930	0	227,626	863,908
(1) 教育委員会費	2,396	2,369	27	0	0	0	2,396
(2) 事務局費	386,453	372,129	14,324	0	0	0	386,453
(3) 学校教育指導費	701,996	652,367	49,629	16,930	0	227,626	457,440
(4) 私学振興費	17,619	17,842	△ 223	0	0	0	17,619
2 小学校費	2,208,718	684,949	1,523,769	69,373	1,338,300	254,965	546,080
(1) 学校管理費	2,105,821	605,853	1,499,968	44,177	1,338,300	254,965	468,379
(2) 学校振興費	102,897	79,096	23,801	25,196	0	0	77,701
3 中学校費	488,146	2,173,776	△ 1,685,630	18,271	0	24,797	445,078
(1) 学校管理費	400,126	2,091,835	△ 1,691,709	0	0	24,797	375,329
(2) 学校振興費	88,020	81,941	6,079	18,271	0	0	69,749
4 幼稚園費	281,611	290,786	△ 9,175	0	0	1,735	279,876
(1) 幼稚園費	281,611	290,786	△ 9,175	0	0	1,735	279,876
5 社会教育費	2,536,867	1,575,642	961,225	254,134	156,400	800,395	1,325,938
(1) 社会教育総務費	358,617	393,109	△ 34,492	12,650	0	1,803	344,164
(2) 地域交流センター費	183,828	176,773	7,055	0	0	13,262	170,566
(3) 図書館費	114,487	100,234	14,253	0	0	1,100	113,387
(4) 文化施設費	926,288	850,073	76,215	12,821	144,400	76,809	692,258
(5) 地域交流センター 建設費	953,597	55,353	898,244	228,663	12,000	707,371	5,563
(6) 文化事業基金費	50	100	△ 50	0	0	50	0
6 保健体育費	1,818,234	1,617,839	200,395	124,924	240,900	559,403	893,007
(1) 保健体育総務費	240,164	256,179	△ 16,015	0	0	10,858	229,306
(2) 体育施設費	571,736	408,570	163,166	20,000	240,900	38,915	271,921
(3) 学校給食費	1,006,213	953,054	53,159	104,924	0	509,509	391,780
(4) スポーツ振興基金費	121	36	85	0	0	121	0

【教育部】

令和7年度予算 令和6年度予算

◇教育総務課	小・中学校猛暑災害対策事業費	1,268,653	1,302,076
	小中学校管理事業 (水泳事業試行に係るもの)		16,650
	小・中学校教育環境整備事業費	379,966	621,641
	校務支援事業費	112,255	111,267
◇学校教育課	地域クラブ活動推進事業費	8,797	6,183
	外国につながる児童生徒教育支援事業費	27,411	24,564
	小・中学級支援員配置事業費	165,350	136,038
	ICT教育推進事業費	27,137	18,422
	教育センター事業費	13,846	15,600
◇学校給食課	学校給食食材費高騰対策事業費	130,478	92,229
◇図書課	図書資料購入費	29,200	26,500

【学校福祉部】

◇子ども支援課	不登校児等教育支援費	52,119	33,677
	校内教育支援センター(心の教室)事業費	40,235	31,507
	いじめ防止等対策事業費	6,574	6,362
	就学支援事業費	22,266	16,379
◇家庭支援課	放課後児童クラブ運営事業費	415,987	325,755

【こども未来部】

◇保育・幼稚園課	保育所・幼稚園熱中症対策事業	2,400	1,200
	就学前言語障害児指導費	18,481	16,920
	公立幼稚園における幼児教育の提供の あり方検討事業		

【生きがい・交流部】

◇スマイルライフ 推進課	豊田地域交流センター整備事業費	948,034	55,353
	港地域交流センター整備事業費	5,563	—

7 教育施設一覧表

番号	設名	所在地	TEL
----	----	-----	-----

教育委員会事務局

1	教育総務課	本町2-16-32	625-8156
	学校教育課		625-8160
	子ども支援課		625-8159
	家庭支援課		631-6977
	教育センター	宗高900	631-4811
	青少年教育相談センター	本町5-6-1	631-4346

小学校

2	焼津東小学校	栄町5-14-1	628-6348
3	焼津西小学校	塩津117-1	628-3064
4	焼津南小学校	焼津5-5-1	628-2321
5	豊田小学校	五ヶ堀之内2	628-3201
6	小川小学校	南小川2-3-5	624-3097
7	東益津小学校	石脇上65	628-4427
8	大富小学校	中根新田637	624-4316
9	和田小学校	田尻541	624-4507
10	港小学校	石津港町40-2	624-0210
11	黒石小学校	大住1246	629-4855
12	大井川東小学校	宗高428	622-0010
13	大井川西小学校	上泉1688-1	622-0049
14	大井川南小学校	吉永490	622-0104

中学校

15	焼津中学校	焼津2-10-28	628-7255
16	大村中学校	大村3-25-1	628-3851
17	豊田中学校	小土301-2	627-1166
18	小川中学校	東小川4-21-1	628-3777
19	東益津中学校	中里416	628-4428
20	大富中学校	中根1-1	624-4329
21	和田中学校	田尻1984	624-4339
22	港中学校	田尻北584	624-6010
23	大井川中学校	下江留191	622-0038

市立幼稚園

24	大富幼稚園	中根新田638	624-3668
25	さつき幼稚園	大覚寺3-5-1	627-3902
26	静浜幼稚園	宗高88	622-0101
27	静浜幼稚園下藤分園	下小杉1361	622-2147
28	大井川西幼稚園	下江留2300-1	622-4187
29	大井川南幼稚園	吉永334-2	622-5147

私立幼稚園

30	焼津幼稚園	焼津5-4-2	628-2851
31	新屋幼稚園	本町1-1-10	628-3895
32	西町幼稚園	大村1-12	629-3277
33	小川幼稚園	東小川6-21-4	629-2188
34	みなと幼稚園	中港1-7-23	628-2736
35	焼津豊田幼稚園	小土1059-1	628-4004
36	みやじま幼稚園	三ヶ名807-1	628-9084
37	焼津中央幼稚園	西小川1-2-14	628-9612
38	まどか幼稚園	田尻北1223-2	624-6415
39	三和幼稚園	三和614-2	624-0046
40	すみれ台幼稚園	すみれ台1-25-1	623-1545

学校給食施設

41	学校給食課 学校給食センター	大島1746	624-6660
----	-------------------	--------	----------

地域交流センター

42	焼津地域交流センター	本町5-6-1	626-0888
43	豊田地域交流センター	小屋敷258-1	627-7310
44	小川地域交流センター	南小川2-19-1	624-8191
45	東益津地域交流センター	石脇上65	628-2607
46	大富地域交流センター	中根新田93-1	624-4302
47	和田地域交流センター	田尻1992-2	623-1570
48	港地域交流センター	石津港町40-1	624-8855
49	大村地域交流センター	大覚寺3-5-5	629-3351
50	大井川地域交流センター	宗高900	622-3111

社会教育施設

51	焼津中央広場	焼津4-15-1	
52	県立焼津青少年の家	石津2259-408	624-4675

社会体育施設

53	総合グラウンド管理センター 総合体育館	保福島1050	628-5740
54	野球場・陸上競技場・テニス場	保福島950-1	629-3221
55	焼津体育館	焼津2-7-3	620-4301
56	市営相撲場	焼津2-7-3	
57	青峯プール(夏季のみ)	小川3812-10	629-7811
58	田尻スポーツ広場	田尻2058	
59	一色水道用地	一色1043	
60	関方社会教育広場	関方116	
61	漁船員テニス場	中港5-20	
62	大井川体育館	中島1183	622-5236
63	飯淵グラウンド	飯淵1244	
64	大井川河川敷運動公園 陸上競技場・スポーツ広場	西島538他	664-1234
65	吉永自由広場	吉永491-1	
66	藤守浜スポーツ広場	藤守2236-1	

文化教育施設

67	焼津文化会館	三ヶ名1550	627-3111
	焼津図書館		628-2334
	歴史民俗資料館		629-6847
	焼津小泉八雲記念館		620-0022
68	大井川文化会館	宗高888	622-8811
69	大井川図書館	宗高909-1	622-9000
70	花沢地区ビジターセンター	花沢33	-

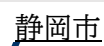
ディスカバリーパーク焼津

71	天文科学館	田尻2968-1	625-0800
72	水夢館		625-0801

高校・大学ほか

73	県立焼津水産高等学校	焼津5-5-2	628-6148
74	県立焼津中央高等学校	小土157-1	628-6000
75	私立焼津高等学校	中港1-1-8	628-7235
76	県立清流館高等学校	上新田292-1	622-3411
77	県立漁業高等学園	小川3747-2	627-0219
78	静岡福祉大学	本中根549-1	623-7000
79	組合静岡県中部看護専門学校	東小川1-6-9	629-4311
80	県立藤枝特別支援学校焼津分校	焼津5-5-2	628-8111

8



Ⅲ 焼津市教育大綱

1 目指す姿

みんなで笑顔を育むまち『やいづ』

子どもたちに笑顔が溢れば、
まちのみんなの笑顔が輝きます

だから、まちのみんなで、
子どもたちの笑顔と夢を育みます

芸術文化・スポーツを楽しめば
まちのみんなの笑顔が輝きます

だから、まちのみんなで
芸術文化・スポーツに親しみます



家族と笑顔で …… ～愛情を受け止め、自立心を身に付ける～

子どもたちが、毎日笑顔で生活するためには、家族からの愛情が欠かせません。また、地域の方との笑顔での挨拶やふれ合いもとても大切です。

家庭での教育力、地域の教育力の向上を図り、子どもたちが自分で考え判断し行動する「自立心」を身に付け、健やかな心と体を育みます。

友達と先生と笑顔で …… ～夢や目標を定め、主体的に学ぶ～

園・学校では、友達とお互いに認め合い磨き合う集団生活を通して、自分自身を知ることが大切です。また、先生によさを認めてもらったり、逆に課題を指摘してもらったりする中で、自分の夢や目標を描き、主体的に学ぶことも重要なことです。

子どもたちが、安全に安心して学びが充実する環境、先生が笑顔で子どもたちに向き合うことができる環境を整えます。

やいづで笑顔いっぱい …… ～焼津のよさを見つけ、未来を描く～



自分が住むまち「やいづ」を学び、深く知ることが、将来について考え、夢や目標をもって生活することにつながります。

温暖な気候、海・山・川に恵まれた豊かな自然、富士山を望む美しい景観、交通の利便性、歴史や伝統・文化等、やいづのルーツを学び、郷土を誇りに思う教育を目指します。また、文化や芸術、スポーツなどに親しんだり、競技スポーツに力を注いだりする市民を応援し、一人一人の笑顔が輝くための場を大切にします。

優しく、強く、愛しい人

- つまずいても、失敗しても、あるいは壁にぶつかっても、負けないで粘り強く立ち向かう「たくましい強さ」をもった人。
- 時代の変化に対応できる柔軟さ、あるいは苦しい体験や辛い思いをしたときに折れることなく、それらをよい経験としてポジティブに受け止めるなどの「柔軟な強さ」をもった人。
- 他者との立場を理解し認め、他者の考えを受け入れる「優しさ」をもった人。他者との協調や協働を大切にし、「和の心」をもった人。
- 人から愛され、信頼される「愛しい人」。

これからの時代を生き抜き、輝いていくためには、自分自身を知り、世の中の多くのことに興味や関心をもって積極的に挑戦する姿勢が大切です。そして、その挑戦の過程で生じる困難やつまずき・失敗がとても大切な経験となります。目の前の壁に自らの力で立ち向かい、たとえ乗り越えられなくても挑戦した経験があつてこそ、真の強さや優しさを身に付け、人から愛され信頼される愛しい人へと成長するのです。

だから、私たちは、まちのみんなで「優しく、強く、愛しい人」を目指します。



そこで、本市では……

- 家庭や地域においては、子どもたちが様々な経験をし、たとえそれが苦勞であっても、温かく見守りながら励ます姿勢を大切にする意識の醸成を図るなど、家庭や地域の教育力の向上に努めます。
- 乳幼児教育、学校教育においては、「子どもの言動を決定づけたり、制限したりする教師からの指示は極力控え、たとえ失敗しても子どもたちが自ら判断し、自ら動き出すように意図的に働きかける指導」を積み重ねるよう努めます。
- まちのみんなが、芸術文化、スポーツなど、様々な活動に積極的にチャレンジする機会の充実に努めます。

3 基本方針

みんなで笑顔を育むまち『やいづ』

優しく、強く、愛しい人

1 子ども・子育て支援の充実

- (1) 乳幼児の教育・保育の質の確保と向上
- (2) 配慮が必要な子どもや家庭への支援の充実
- (3) 子育てを社会全体で支える環境づくり

2 学校教育の充実

- (1) 主体的、協働的な学びを通して、子どもに生きる力（確かな学力、豊かな感性、健やかな心）を身に付ける学校教育の推進
- (2) 教職員の資質能力の向上
- (3) 安全・安心で、豊かな学びが実現する施設・設備の充実

3 生涯学習の推進

- (1) 生涯学習の機会の充実、学びが循環する体制の構築
- (2) 生涯学習施設・設備の充実
- (3) 地域の教育力の向上

4 芸術文化と歴史伝統のまちづくり

- (1) 芸術文化の振興
- (2) 伝統文化の保護・活用・継承
- (3) 郷土愛を育む地域教育の充実

5 スポーツの振興

- (1) スポーツ参加機会の創出
- (2) 青少年スポーツ活動の充実
- (3) 安全・安心で、快適なスポーツ施設・設備の充実



1 子ども・子育て支援の充実

(1) 乳幼児の教育・保育の質の確保と向上

一人一人の子どもが心身ともに健やかに成長できるよう、乳幼児の教育・保育の質の確保と向上に取り組みます。また、幼稚園・保育所（園）と小学校との連携を深めることで、連続性と一貫性をもった学びの実現を目指します。

(2) 配慮が必要な子どもや家庭への支援の充実

すべての子どもが明るい笑顔で生きていくために、その子にとって「最善の利益」が確保できるよう、貧困、障害、虐待など特別な支援を必要とする子供や家庭に対して総合的な支援体制の整備を図ります。

(3) 子育てを社会全体で支える環境づくり

子どもが健やかに成長するためには、保護者が我が子の成長に喜びや生きがいを感じて、日々子どもと向き合うことが何より大切です。そのために、社会全体で子育て家庭に寄り添い支える「子育て支援」に取り組み、家庭の教育力の向上を図ります。



2 学校教育の充実

(1) 主体的、協働的な学びを通して、子どもに生きる力（確かな学力、豊かな感性、健やかな心）を身に付ける学校教育の推進

子どもたちが「生きる力」を身に付けるためには、子どもたちにとって魅力ある授業を実現することが何より大切です。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、日々の授業改善を推進します。また、子どもたちが、つまずきや失敗も含め様々な体験を積むことができるよう、行事などでも子どもたちの個性を生かし主体的で協働的な取組を大切にすることで、子どもたちの真の笑顔につなげます。

(2) 教職員の資質の向上

子どもたちが、笑顔で生き生きと学校生活を過ごすためには、教職員の資質能力の向上が欠かせません。教職経験年数や職務に応じた研修の充実を図るとともに、教職員が自ら進んで研修に取り組む環境整備を図ります。

(3) 安全・安心で、豊かな学びが実現する施設・設備の充実

子どもたちが安全に、安心して笑顔で学校生活を過ごすとともに、豊かな学びが実現することができるよう、施設・設備の充実を図ります。



3 生涯学習の推進

(1) 生涯学習の機会の充実、学びが循環する体制の構築

誰もが、生き生きと学べる学習機会の提供、科学や図書に親しむ機会の充実など、笑顔溢れる生涯学習の環境づくりを推進します。また、身に付けた知識・技能等を地域の活動や園・学校の学習などにつなげるような学びが循環する体制を構築します。



(2) 生涯学習施設・設備の充実

学習の拠点として生涯学習施設の整備・改修及び機器の更新など、施設・設備の充実を図ります。

(3) 地域の教育力の向上

家庭と地域と学校が共に手を取り合い、地域ぐるみで、子どもたちの豊かな学びと確かな育ちを支援します。そのために、三者が連携を深めながら、地域全体の教育力の向上を促進します。

4 芸術文化と歴史伝統のまちづくり

(1) 芸術文化の振興

芸術文化の活動拠点となる公共施設では、施設の特性や地域性を生かした企画運営を行うなど、良質な芸術文化に触れ、楽しみながら活動する機会を提供します。

(2) 伝統文化の保護・活用・継承

文化財を地域の歴史的資源としてとらえて保護するとともに、積極的な活用を進め、古きよき焼津を次世代に伝えていきます。また、文化遺産所有者や伝統文化継承団体が、保護継承に取り組めるよう積極的に支援します。

(3) 郷土愛を育む地域教育の充実

誰もが郷土への愛着と誇りを持てるように、歴史や文化、自然、科学などの地域資源を生かした体験型学習を提供し、笑顔いっぱいの未来につなげるよう取り組みます。

5 スポーツの振興

(1) スポーツ参加機会の創出

いつでも誰もが、笑顔でスポーツに親しむことができるよう、気軽に参加できる体験会や教室などの各種イベントを開催し、スポーツに取り組める機会を提供します。

(2) 青少年スポーツ活動の充実

体力向上、人材育成を目的として活動するスポーツ少年団などのスポーツ団体を支援していくとともに、国際的なスポーツを通じた交流を推進し、世界に羽ばたく青少年の育成に努めます。

(3) 安全・安心で、快適なスポーツ施設・設備の充実

スポーツ施設において、安全安心で笑顔溢れる活動ができるよう、施設の計画的な修繕・再整備を行うとともに、更なる利便性の向上と効率的な運営を推進します。



4 教育大綱の推進

1 教育大綱を実現するための施策

教育大綱の実現を図るため、「焼津市子ども・子育て支援事業計画」を始めとした焼津市総合計画の分野別計画や「焼津未来創生総合戦略」などの特定課題に対する施策と相互連携しながら、様々な施策を展開していきます。

2 教育大綱の期間

本教育大綱の期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。ただし、期間中であっても参酌すべき国の教育振興基本計画や整合を図るべき焼津市総合計画に大幅な変更があったときは、この教育大綱を見直すものとします。

3 重点的施策等

重点的に取り組む施策については、毎年度教育委員会が「焼津市教育重点施策」として定めます。また、特に重点的に講ずべき施策については、焼津市総合教育会議を通して、その方向性を市長と教育委員会が協議し推進していきます。

4 教育大綱の推進体制

基本方針に掲げた施策については、焼津市行政評価システムにより、定期的な達成状況の把握、必要な改善を行い、教育大綱の確実な推進を図っていきます。



Ⅳ 令和7年度 焼津市の教育の重点

失敗や間違いを恐れない子、疑問を言える子

本市においては、焼津市教育大綱の基本理念「優しく、強く、愛しい人」の育成に向けて、令和4年度から、教育の重点を「失敗や間違いを恐れない子、疑問を言える子」として3年が経過した。この3年間で公立幼稚園、小中学校の教育目標や重点目標等に、この重点が確実に反映されてきている。

また、園や学校を訪問して教育活動の様子を参観すると、日々子どもと接している教職員が本重点を意識した取組が随所に窺え、本重点の理念が浸透し具体的な実践が徐々に広がってきていることが分かる。例えば、「他の場合でも、このやり方でできるか試してみたい」といった子どもが自ら動き出そうとする授業展開を構想したり、「この部分が分からないから先に進めない」というような疑問の表出を積極的に認めて取り入れたり、行事における企画や決まり事の設定などを子どもたちに委ね、取組の過程を価値づけたりするなど、子どもが自ら考え、判断し、行動することを大事にする実践が着実に増えてきている。

一方、子どもたちの実態に目を向けると、まだまだ失敗や間違いを恐れる子どもは少なくない。生活や学習の過程で分からないこと、できないことがあると必要以上に悩んだり、間違えることを恐れて表現することをためらったりする子どもも多い。また、市の『生活や学習に関するアンケート調査』の結果を見ても、「失敗を恐れないで挑戦しようとしている」の質問に対する回答は他の項目に比べて好ましい状況とは言えない。

そこで、本年度も引き続き教育の重点を「失敗や間違いを恐れない子、疑問を言える子」とし、その実現に向けて取り組むこととする。

園や学校では、引き続き、子ども一人一人が「失敗や間違いは価値あるもの、分からないことがあって当たり前であること」を実感するような接し方や声掛けに努める。また、つまずいても互いに認め合い、再びチャレンジすることを後押しし、子どもたちが仲間と共に伸びよう高めようとする授業や学級活動、行事等の運営に意を尽くす。

子ども一人一人が、「失敗や間違いがよくないもの」という捉えではなく「失敗や間違いは物事を成し遂げるために欠かせないもの」と捉えることができるまで繰り返し指導したい。

また、変化の激しい時代を生きていく子どもたちには、「疑問をもったときに、その疑問から解決すべき問題（問い）の本質を読み取り、試行錯誤しながらも皆が納得する解を導き出そうとする姿勢」を身に付けさせたい。それが、未来に向けて持続可能な社会の創り手を育成しみんなが笑顔で過ごせるまちを創造することに繋がると考える。

本重点の理念が、子どもと直接接する保護者、教職員、地域の人々に浸透し、子どもの姿として実現していくことは、簡単なことではない。しかし、本市の子どもたちがこれからの時代を生き抜き、輝いていくために、本年度も粘り強く確実な歩みを進めていきたい。



V 令和7年度 焼津市教育主要施策

教育総務課

- ・小学校校舎等整備工事事業

小学校の校舎等の施設を保全するために維持補修工事を実施します。

令和7年度は、港小学校の特別支援学級増と、黒石小学校への通級指導教室の設置に伴い、教室に空調を整備します。

- ・小中学校猛暑災害対策事業

猛暑を災害と捉え、市内全ての小・中学校体育館に、空調設備を設置します。令和6年度に設置完了した市内9校の中学校に続き、令和7年度は市内13小学校全ての工事を実施します。

また、グラウンド等の屋外における暑さ対策の検討として、小中学校各1校でミストファンを試行します。

- ・小中学校教育環境整備事業

「学び舎にこにこ元気計画」に基づき、令和7年度までに全小中学校の校舎トイレの洋式化及び乾式床への改修を行います。令和7年度は、小学校2校の工事を行います。

また、港小学校・小川中学校のロッカー改修及び小川小学校、大井川東小学校の校内環境改善を行います。

- ・小・中学校要・準要保護児童生徒就学援助

経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費や学校給食費等を支給します。

また、物価高騰が続く中、夏休みの期間や進学・進級時など、一時的に増大する保護者の負担を軽減するため、学校夏季休業期間昼食費や進学・進級時児童生徒教育費の支給を行います。

学校教育課

- ・地域クラブ活動推進事業

生徒のニーズにあった活動の場や専門的な指導を受ける機会を確保するため、学校外の地域の方が代表となる地域クラブ活動を実施します。

- ・外国語指導助手配置事業

児童生徒の外国語学習をより充実させるため、小中学校の外国語活動・外国語科の授業をサポートする、外国語指導助手（ALT）を配置します。

なお、令和7年度は、新たに、語学指導等を行う外国青年招致事業により招致した外国青年2人を外国語指導助手（ALT）として任用します。

- ・外国につながる児童生徒等教育支援事業

増加する外国につながる児童生徒に対応するため、支援員の配置を継続的・計画的に実施し、児童生徒の学校生活への適応支援や、保護者面談など、きめ細やかな支援を行います。

また、新たに入国した児童生徒の受け入れや学校に就学する前の児童生徒への母語での学習支援（プレ教室）、小学校に入学予定の幼児への学校生活体験（プレスクール）等の事業についても、継続的に実施します。

- ・小・中学級支援員配置事業

児童生徒に寄り添い、授業における個別の学習や学校生活の支援を行う特別支援学級サポーター、学びの充実サポーター等を市内すべての小中学校に配置するほか、小学校低学年クラスの児童が安定した学校生活を送り、基本的な学習・生活習慣を身に付けられるよう、低学年サポーターを配置します。

令和7年度は、11人増員し、計122人の支援員が児童生徒の学校生活の充実を支援します。

学校給食課

- ・学校給食食材費高騰対策事業

学校給食食材費が高騰するなか、質・量ともに確保された安全な学校給食の安定的な提供を図ります。

図書課

- ・ 図書館資料購入事業

広く市民の利用を図るため、焼津・大井川図書館及び市内地域交流センター図書室の資料の充実を図ります。

子ども支援課

- ・ 不登校児等教育支援事業

不登校児童生徒の社会的自立を図るために、焼津チャレンジ・大井川チャレンジ・東益津チャレンジの指導員10人と市スクールカウンセラー1人が、チャレンジ教室で支援を行います。

指導主事・公認心理師・保健師・家庭児童相談員が、家庭支援課や学校などと連携して継続的支援を行います。

- ・ 校内教育支援センター（心の教室）事業

校内教育支援センターとして、教室に入りにくい児童生徒への支援を行うために心の教室相談員を市内全小・中学校22校に配置します。

令和7年度は、午後まで支援できる学校を4校から8校に増やし、支援の充実を図ります。

家庭支援課

- ・ 放課後児童クラブ運営事業

保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、放課後に適切な学びや生活の場を提供する放課後児童クラブ事業を社会福祉法人等に委託して実施し、子どもの育ちと子育てしやすい環境づくりを進めます。

令和7年度からは、新たな利用料軽減制度として、第2子以降の利用料について、低学年（小学校1～3年生）は無料、高学年（小学校4～6年生）は半額とします。

スマイルライフ推進課

- ・ 豊田地域交流センター整備事業

昭和55年に建設された豊田地域交流センターについて、生涯学習、健康、子育て、安心安全な地域づくりなどの機能を備えた新しい地域交流の拠点施設として再整備を行います。令和6年度から建設工事に着手し、令和7年度末の完成を目指しています。

保育・幼稚園課

- ・ 私立幼稚園運営助成事業

私立幼稚園11園における熱中症対策として、日除けテント、遮光スクリーンなどの設置を推進し、屋外で安全に活動できる環境整備を行います。

- ・ 幼稚園管理事業

公立幼稚園6園における熱中症対策として、日除けテント、遮光スクリーンなどの設置を推進し、屋外で安全に活動できる環境整備を行います。

Ⅵ 幼児教育

1 令和7年度 幼児教育の重点

《目 標》 優しく、強く、愛しい人
《重 点》 自分の遊びを見つけ、夢中になって遊ぶ子
★自分の思いを持つ、自分の思いを出す

1 基本方針

幼児期においては、「焼津市教育大綱」及び「令和7年度焼津市の教育の重点」の基本理念に基づき、幼児にふさわしい豊かな学びのある園生活を通して、本年度も自己実現の第一段階である「自分の思いを持つ」「自分の思いを出す」ことができる子の育成に努める。自分の思いを持ち、自分の思いを出す姿を「自分の遊びを見つけ、夢中になって遊ぶ子」とし、幼児教育の重点とする。

各園では引き続き、この目標と重点を視野に入れて設定した「園目標」及び「重点目標」の達成を目指して、子どもの思いや意見を尊重した組織的な教育活動を推進し、家庭・地域との協働に努めながら魅力ある園づくりに努める。

また、「焼津市乳幼児教育推進会議」を中心に、公立・私立、幼稚園・保育園等の枠にとらわれることなく、すべての園（施設）が幼児教育の視点において連携し、質の高い幼児教育の推進に向けて取り組んでいく。

幼児教育の目標・重点の実現に向けた取組の柱を、(1)「生きる力」の基礎を育む幼児への指導(2)「幼児の成長を支える教育環境の充実」とし、具体的な取組を次の5点とする。

2 具体的な取組

(1) 「生きる力」の基礎を育む幼児への指導

【取組1 夢中になる遊び】

幼稚園教育要領に沿って、子どもの興味や関心が原動力となった夢中になる遊びを展開し、「生きる力」の基礎の育成に努める。

自分の遊びから友達との遊びに広げ、様々な人・もの・ことと出会う楽しさを十分に味わうことができるよう、一人一人がその子ならではの夢中になって遊べる環境を提供し、子どもの世界を広げていく。

このことにより、様々なものに興味を持ち、主体的に自分のやりたいことを実現させる力を育てていく。

<園の取組>

- ・子どもの「やりたい！」がふくらむ遊びのための環境づくりと活動を豊かにする援助を行う。
- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」(※1)を考慮した活動を展開し、活動と評価の一体化をし、子どもたちに知識及び技能の基礎や、思考力・判断力・表現力等の基礎、学びに向かう力・人間性等をバランスよく育てる。
- ・子どもをまるごと受けとめ、やりたいことを実現できる環境づくりと援助を工夫する。

【取組2 安定した心で過ごす園生活】

園では、安定した情緒の下で活動を行い、「自分が大切な存在である」という実感と自己肯定感を育み、そして、自他の存在を大切にすることを育てていく。

また、生活の中で、「うれしい」「楽しい」「くやしい」「いやだ」など様々な思いを経験し、それでも前を向ける強い心を育てていく。

＜園の取組＞

- ・ どの子ども安心・安全に過ごし、主体性を発揮できる環境を作り、保育を展開する。
- ・ 子どもの思いを充分受け止め、思いを引き出す環境づくりや援助の工夫をし、結果以上に過程を認める指導を行う。
- ・ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」を考慮した園生活の中で、子どもの特性に応じた指導を行う。

（２）幼児の成長を支える教育環境の充実

【取組３ 教職員の和】

一人一人の教職員が本来もつ資質や能力を最大限に発揮するためには、相互の人間関係が良好で和のある職場であることが大切である。その和を高め、より機能的な組織体制を構築して、園の責務を果たしていきたい。

また、乳幼児期の子どもにとって、人格形成の第一歩に出会う教職員は大きな存在である。子どもたちの思いや意見を尊重し、安全・安心を守り、健全な成長を保障するために、高い専門性をもち、魅力的な存在でありたい。そのために、教職員の資質・能力と危機管理能力の向上を図る。

＜園の取組＞

- ・ 教職員個々が力を発揮できるよう、教職員の和を大切にし、より組織的な組織体制の整備をすすめる。
- ・ 教職員の資質能力の向上を図り、幼児理解を深め、教職員としての専門性を高める。また、危機管理能力の向上を図り、災害等発生時等に適切に対応し、安全に行動できる実践力を育てる。
- ・ 教職員の幼児理解・教材研究の時間確保のための働き方改革を推進する。

【取組４ 家庭・地域との協働】

幼児期は、家庭と園で、子どもの様子や願いを密に共有することが大切である。家庭と園が連携し、思いをそろえて子供たちの成長を支えていく。

また、子どもの活動は、園にとどまらず、地域の力を得て、いろいろな人・行事と出会い、豊かな体験をすることで、心と体を育てていきたい。

＜園の取組＞

- ・ 「焼津市教育大綱」や「令和７年度焼津市の教育の重点」に示された目標や重点について、園から家庭や地域に発信し、理解と協力を得るように努める。
- ・ 家庭と密な連絡、情報交換をして共通理解を図りながら、子どもの自己肯定感を育てる。
- ・ 自主性と自己肯定感を育む子どもへの接し方を家庭に啓発し、共に子どもを育てる。
- ・ 地域とのふれあいの場を設定する。

【取組５ 関係諸機関との連携】

家庭での育ちの状況が気になる子、特別な支援を要する子などが aumentando 中で、どの子にも確かな育ちを保障する必要がある。園では、子どもの教育的ニーズを捉え、関係諸機関と連携して対応する。

＜園の取組＞

- ・ 様々な支援を必要とする子どもの早期発見、早期対応に努めるとともに、関係諸機関（福祉、保健医療、司法、教育相談等）と日常的な連携や緊急時の支援の依頼等をし、協働して対応する。
- ・ 関係諸機関と情報共有と共通理解に基づき、同じ方向性を持ち、継続的な指導・支援を行う。

（＊１）「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」：幼稚園教育要領 平成29年3月告示参照

2 令和7年度 焼津市幼児教育の重点 構想図

《目標》 優しく、強く、愛しい人
 《重点》 自分の遊びを見つけ、夢中になって遊ぶ子
 ★自分の思いを持つ、自分の思いを出す

「生きる力」の基礎を育む幼児への指導

取組1 夢中になる遊び

- ・「やりたい！」がふくらむ遊びのための環境づくりと活動を豊かにする援助
- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」(※1)を考慮した活動、及び、活動と幼児理解に基づいた評価の一体化
- ・子どもをまるごと受けとめ、やりたいことを実現できるように支える環境づくりと援助の工夫

取組2 安定した心で過ごす園生活

- ・どの子どもも安心・安全に過ごすことができ、主体性を発揮できる環境づくりと保育の展開
- ・子どもの思いを充分受け止め、思いを引き出す環境づくりや援助の工夫をし、結果以上に過程を認める指導
- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」を考慮した園生活と子ども一人一人に応じた指導

(※1) 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」：幼稚園教育要領平成29年3月告示参照

幼児の成長を支える教育環境の充実

取組3 教職員の和

- ・個々が力を発揮できる教職員の和と組織体制
- ・教職員の資質能力及び危機管理能力の向上
- ・教職員の幼児理解・教材研究の時間確保のための働き方改革の推進

取組4 家庭・地域との協働

- ・焼津市教育大綱や焼津市の教育の重点に示された「目標」「重点」の理解と協力依頼
- ・家庭との密な連絡、情報交換と共通理解
- ・子どもの自主性と自己肯定感を育む接し方の共通理解
- ・地域とのふれあい

取組5 関係諸機関との連携

- ・関係諸機関(福祉、保健医療、司法、教育相談等)との日常的な連携と緊急時の支援の依頼
- ・情報共有や共通理解に基づく、同じ方向性をもった継続的な指導・支援

【焼津市乳幼児教育推進会議～オールやいづ★ねっこプロジェクト～】

①質の高い教育・保育の提供

- ・課題検討部会
- ・乳幼児教育研修会
- ・保育者資質向上研修会
- ・乳幼児教育連絡協議会
- ・保育研修会

②家庭・地域の教育力向上

- ・積極的な保育公開
- ・保護者への情報提供、専門的な助言

③特別なニーズを持つ子及び保護者への支援

- ・組織的な支援
- ・保護者の思いを受けとめる支援

④保幼小接続

- ・焼津市保幼小連絡会
- ・教育内容の相互理解(幼稚園保育所の公開保育参観及び小学校の授業参観)
- ・架け橋期プログラム(保育・幼稚園課と学校教育課との連携)

3 幼稚園

幼児を取り巻く家庭・社会環境は年々著しく変化し、幼児教育に対する期待はますます高まっている。幼児教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培うために重要なものであり、各園において、質の高い保育を提供する必要がある。

市立幼稚園については、少子化や共働きによる保育所入所希望者の増加、3歳児保育の未実施（焼津地区）等の理由により、年々、園児数が減少しており、今後もさらなる減少が予想される。人口推移や私立幼稚園の動向を踏まえ、市立幼稚園のあり方について、検討していく必要がある。

さらに質の高い幼児教育の推進のため、「乳幼児教育推進会議」等を活用し私立幼稚園との連携を深めるとともに、私立幼稚園に対する補助金を交付し、財政面での支援を行う。

《市立幼稚園》

令和7年5月1日

幼稚園	所在地	園長	園児数	○園目標 ●重点目標	研修主題
大 富 幼 稚 園	中根新田638	鈴木邦代	10	○心豊かでたくましい子 ●友達と夢中になって遊ぶ子	「楽しいね」がつながるための保育実践
さつき幼稚園	大覚寺3-5-1	木村千香	6	○明るく元気な子 ●友達と関わりながら遊びを楽しむ子	好きな遊びを見つけて楽しみ、友達の遊びに興味をもつ子を育てる
静 浜 幼 稚 園	宗高88	長野 恵	28	○心も体も元気な子 ●夢中になって遊ぶ子	やってみたくなるような環境の工夫
静 浜 幼 稚 園 下 藤 分 園	下小杉1361	河野悠子	16	○心も身体も元気な子 ●自分の思いを出して遊ぶ子	いろいろなつながりを楽しむ子
大井川西幼稚園	下江留2300-1	栗原智美	29	○明るく優しく元気な子 ●友達と夢中になって遊ぶ子	友達のよさを認め合い一緒に活動するための環境構成
大井川南幼稚園	吉永334-2	名取千春	35	○心やさしい元気な子 ●思いを出して遊ぶ子	異年齢の関わりの中で、思いを出して遊ぶ子を育むための環境の工夫
総園児数			124		

4 市立幼稚園施設概要

令和7年5月1日

区分	校舎(㎡)				屋内運動場(㎡)		プール(㎡)		校地(㎡)	
園名	鉄筋	鉄骨	木造	計	鉄筋	鉄骨	大	小	建物敷地	運動場
幼稚園	2,095	1,900	0	3,995	0	0			9,931	10,300
大 富 幼 稚 園		619		619					1,347	1,167
さ つ き 幼 稚 園		516		516					2,024	913
静 浜 幼 稚 園	684			684					1,375	2,632
静 浜 幼 稚 園 下 藤 分 園	665	19		684				6.5×4.5	1,656	1,200
大井川西幼稚園		728		728				7×6	1,656	1,865
大井川南幼稚園	746	18		764				7.5×5.6	1,873	2,523

Ⅶ 学校教育

1 令和7年度 焼津市学校教育の重点

《目 標》	優しく、強く、愛しい人
《重 点》	失敗や間違いを恐れない子、疑問を言える子 ⇒子どもたちに挑戦（旅）をさせる

1 基本方針

「焼津市教育大綱」及び「令和7年度焼津市の教育の重点」を踏まえ、本市の子どもたちが「優しく、強く、愛しい人」に成長するために、本年度も「失敗や間違いを恐れない子、疑問を言える子」を重点とする。各学校では引き続き、この目標と重点を視野に入れて設定した「学校教育目標」及び「重点目標」の達成を目指して、教職員が一丸となって組織的に教育活動を推進し、魅力ある学校づくりに努める。

そして、重点の実現に向けた取組の柱を、「(1)「生きる力」を育む児童生徒への指導」「(2)児童生徒の成長を支える教育環境の充実」とし、具体的な取組を次の5点とする。

2 具体的な取組

(1)「生きる力」を育む児童生徒への指導

【取組1 魅力ある授業】

これからの社会で生きていくのに必要な資質・能力を育むために、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に学校体制で取り組む。その際、子どもたちは元来優れた学び手であるという「子ども観」のもと、これまで以上に子ども理解に努め、個々の子どもの特性や興味・関心に応じた学習活動、ICT機器の効果的な活用等により、「個に応じた指導」の充実を図る。併せて、学校ならではの子ども同士の学び合いや、体験的な活動を重視して学びの場を充実させる。

特に、単元で身に付けたい資質・能力を押さえた教材研究のもと、子どもから生じる疑問や間違い、子ども同士の思考のズレ、課題解決の過程で子どもが難しさを感じていること等を課題や問いとして設定することで、意欲的に学習に取り組む姿が期待できる。

つまり、教師の指示や説明に沿って展開する学びではなく、子ども自身が主体的に取り組む学びによって、今の自分に必要な学びとは何かを判断し、自己の学びを調整しながら学ぶ力が身に付く。また、こうした学習の積み重ねによって、疑問や間違いの大切さに気付き、失敗や間違いを恐れないで進んで挑戦する子に育っていく。

＜学校の取組＞

- 「学びに向かう力、人間性等」「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」の3つの力をバランスよく育むため、単元で身に付けたい「資質・能力」を押さえて授業を構想し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて授業改善を進める。
- 教師は、子どもたちの疑問や間違いを生かした「問題解決的な学習」や、一人一人の興味・関心に応じ、やりたいことを深められる「主体的な学び」を支援する伴走者としての役割を果たす。
- 子どもたちが「学ぶよろこび」を実感できるように、教師は、子ども一人一人の学びをきめ細やかに見取って評価し、教師の指導改善と子どもの学習改善の両方に生かす。また、ICT機器の効果的な活用を推進する。子ども一人一人が、自分で選択した目標や方法で学習を進めると共に、他者と協働した活動を重視するなど、子ども自身が考え、判断し、行動する「子ども主体の授業」を展開する。

【取組2 心を育てる学校生活】

学校は、子どもたちが集団生活を通して、人として生きていくために必要な優しさや強さを身に付けていく場所である。子どもたちに思いやりの心を醸成し、自他の存在を大切にできる人権感覚を磨いていくために、互いのよさや違いを認め合い、失敗や間違いを受け入れることができる人間関係づくりを大切にする。また、子どもたちが失敗や間違いを恐れずに挑戦するたくましさやしなやかさを身に付けていくために、夢や希望、目標をもち、それらに向かって努力し続ける過程を認め、励ましていく。

＜学校の取組＞

- 子ども一人一人が集団の中で個の存在が認められ、安心して生活できる場をつくるために、道徳教育や学級での生活を柱として、人権教育等人間尊重の教育を充実させる。
- 子どもたちが学校生活で取り組んだあらゆる活動について、そこで得られた結果以上に、挑戦したこと等の過程を認め励ます指導を積み重ねる。そのために、特別活動においても、教師主導でなく、子ども主体の自治的な活動を推進する。
- 子どもたちが自己有用感を得て、生き生きと学校生活を送るために、一人一人の子どもの良さを引き出す支援・指導や、特別支援教育の考え方を生かした支援・指導に努める。

(2)児童生徒の成長を支える教育環境の充実

【取組3 教職員の和】

一人一人の教職員が本来もつ資質や能力を最大限に発揮するためには、相互の人間関係が良好で、和のある職場であることが大切である。教職員の和を高め、より機能的な組織体制を構築する。

子どもたちの成長を保障し、「生きる力」を育むために、教職員の授業力等の資質能力の向上は必須である。また、子どもたちを取り巻く環境の急激な変化の中で、子どもたちの安全・安心を守ることは、学校教育の基盤として欠かせないことである。そのために、教職員の資質能力、危機管理能力の向上を図る。

<学校の取組>

- 教職員個々が力を発揮できるよう、教職員の和を高め、より機能的な組織体制を構築する。
- 子どもたちに「生きる力」を育むために、教職員の授業力等の資質能力の向上に努める。また、子どもたちが、自他の命を守り災害等発生時等に適切に対応するため、教職員の危機管理能力の向上に努める。そのための研修を充実させる。
- 教職員が子どもと触れ合う時間を確保するため、教職員の働き方改革を推進する。

【取組4 家庭・地域との協働】

子どもは、学校よりも家庭や地域の方が長い時間生活をしている。したがって、「焼津市教育大綱」や「令和7年度焼津市の教育の重点」に示された目標や重点、子どもの自主・自立を育むための接し方などについて、保護者と共に考え、連携を深めて共通意識をもって子どもに接する必要がある。また、コミュニティ・スクールの効果的な運用により、地域の力を得ながら地域と共にある学校づくりを推進する。

<学校の取組>

- 「焼津市教育大綱」や「焼津市の教育の重点」に示された目標や重点について、学校から家庭や地域に発信し、理解と協力を得よう努める。
- 家庭との密な連絡や情報交換を図り、子どもへの接し方等に関する理解を求める。
- コミュニティ・スクール（学校運営協議会、地域学校協働本部）との連携を推進する。

【取組5 関係諸機関との連携】

特別な支援を必要とする子どもや外国につながる子どもが年々増加している。また、不登校児童生徒の増加やいじめなどの生徒指導上の諸問題、家庭環境の様々な変化に伴う養育上の問題等も生じている。このような状況を鑑み、すべての子どもに確かな成長の場を保障するために、子ども個々の教育的ニーズを捉え、関係諸機関と連携して対応する。

<学校の取組>

- 特別な支援が必要な子どもについては、福祉、保健医療、教育相談等の関係機関と連携し、ケース会議等を開いて、情報共有を進めるとともに適切な対応に努める。
- 日本語指導が必要な、外国につながる子どもについては、外国につながる児童生徒支援員等と連携して個別指導等を行い、安心して学校生活を過ごせるように努める。
- 不登校児童生徒及びその傾向のある児童生徒については、SCやSSW、子ども支援課、家庭支援課、子ども家庭センター等と協働して、子どもとその家庭への支援に努める。
- いじめ、問題行動などの未然防止、早期発見、早期対応に努めるとともに、福祉、司法、教育相談等の関係機関と日常的な連携や緊急時の支援の依頼等協働して対応する。

2 令和7年度 焼津市学校教育の重点構想図

≪目 標≫ 優しく、強く、愛しい人
 ≪重 点≫ 失敗や間違いを恐れない子、疑問を言える子
 ⇒ 子どもたちに挑戦（旅）をさせる

(1)「生きる力」を育む児童生徒への指導

取組 1

魅力ある授業

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させた「主体的・対話的で深い学び」のある授業
- 子どもたちの疑問や間違い等を生かした問題解決的な学習、子ども主体の学び
- 単元で身に付けたい「資質・能力」を押さえた授業
- 指導と評価の一体化、形成的評価の充実、ICT機器の効果的活用、子ども自身が考え・判断・行動

取組 2

心を育てる学校生活

- 道徳教育及び学級での生活を柱とした人権教育、人間尊重の教育の推進
- 結果以上に、挑戦したことなどの過程を認め、価値づける指導
- 子ども主体の自治的な活動の推進
- 一人一人の子どもよさを引き出す支援・指導
特別支援教育の考え方を生かした支援・指導

(2)児童生徒の成長を支える教育環境の充実

取組 3

教職員の和

- 個々が力を発揮できる教職員の和と組織体制
- 教職員の資質能力及び危機管理能力の向上
- 教職員が子どもと触れ合う時間確保のための働き方改革の推進

取組 4

家庭・地域との協働

- 教育大綱や焼津市の教育の重点に示された「目標」や「重点」の理解と協力依頼
- 子どもの自主・自立を育む接し方についての共通理解、家庭との密な連絡、情報交換
- C S（学校運営協議会、地域学校協働本部）との協働

取組 5

関係諸機関との連携

- 関係諸機関（福祉、保健医療、司法、教育相談等）との日常的な連携と緊急時の支援の依頼
- 情報共有や共通理解に基づく、同じ方向性をもった継続的な指導・支援

教 育 部

学校生活や学びを支える

教育総務課「ひかり」 学校給食課「えがお」

- 学校の施設・設備の充実
- 安全安心な学校生活への支援
- 安全安心で、おいしい給食の提供 等

学校教育課「きぼう」 教育センター「みらい」 GIGAスクール推進室「きどう」 図書課「こころ」

- 支援員等の配置（低学年サポーター・心の教室相談員・学びの充実サポーター・特別支援学級サポーター等）
- 地域クラブ活動推進 ○教師力強化 ○授業・学習支援
- 外国語教育の推進 ○外国につながる児童生徒支援
- 情報活用能力の育成、GIGAスクール構想の推進
- 授業への図書提供 等

学 校 福 祉 部

子どもや家庭を支える

子ども支援課「あゆみ」

- 不登校をはじめとする学校生活に課題を抱える児童生徒及びその保護者への支援
- 「優しく 強く 愛しい人育成」指定研究
- 発達支援や巡回相談、就学支援の充実
- 青少年教育相談 等

家庭支援課「きずな」

- 学校生活に課題を抱える児童生徒の家庭への支援
- 放課後の児童への支援
(放課後児童クラブ・放課後子ども教室) 等

＝学校や家庭の教育力向上のための指導・支援＝

3 指導・研修

(1) 学校訪問

①市教委学校訪問

- 趣旨
 - 焼津市「学校教育の重点」の浸透を図ります。
 - 各学校の教育の方向を明確にするとともに、「焼津市の授業改善の視点」等に基づいて授業改善を推進し、確かな学力の育成と教育活動の充実を図ります。
- 訪問者
 - 教育委員、教育長、教育部長、学校教育課長、教育センター所長、子ども支援課長、指導主事、教科・領域研究委員
- 内容
 - 授業参観、教室訪問
 - 校長、教頭等と学校経営等の話合い
 - 授業についての研究協議・全体会での指導、助言

②要請訪問

- 各校の研修主題に関する授業等の指導
- 教科・領域研究委員による指導

(2) 教職員研修

- 教頭研修 …… 学校経営
- 主幹教諭研修 …… 主幹教諭の役割・組織力向上に向けて
- 主幹教諭・教務主任研修 …… 教育課程の編成と運営
- 研修主任研修 …… 研修体制、研修内容の情報交換
- 生徒指導研修 …… 問題傾向児童生徒の対応、不登校対策、いじめ対策
- 初任者研修 …… 教職員の基礎研修、学級経営、学習指導等
- 2年次研修 …… 異校種体験研修
- 3年次研修 …… 社会福祉体験研修
- 中堅教諭等資質向上研修 …… 社会体験研修、異校種体験研修、教科実践研修
- 教科・領域研究委員研修 …… 学校訪問での授業改善指導の研修
- 特別支援教育研修 …… 特別な支援が必要な児童生徒に関する研修
- 小学校外国語活動研修 …… 小学校外国語教育推進に関する研修
- 外国につながる児童生徒等教育支援研修 …… 外国につながる児童生徒支援に関する研修
- 授業力向上研修(若手教員研修) …… 学習指導、学級経営の基礎研修

(3) 教員研修

- 教育論文・実践記録表彰 …… 研究、実践を奨励します。
- 研究指定(学習指導方法) …… 学習指導法の改善についての研究・発表を通して、焼津市
的教育力を高めます。本年度は豊田中学校(令和6・7年度)
焼津西小学校(令和7・8年度)。

4 特別支援教育

(1) 焼津市就学支援

【目的】 障害のある幼児・児童生徒の就学における適正な指導、助言を行うとともに、障害のある児童生徒の教育の振興を図ります。

- 【事業】 ①障害のある幼児・児童生徒の適正な判断並びに就学に関する指導助言
 ②障害のある幼児・児童生徒の検査及び資料作成
 ③障害のある幼児・児童生徒の教育振興
 ④各校の就学支援委員会との連携、指導、助言
 ⑤その他、前条の目的を達するために必要な事業

(2) 就学状況

【知的障害学級 自閉症・情緒障害学級 肢体不自由学級】

校種	学級	学級数	教員数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
小学校	知的障害学級	19	19	20	10	22	31	16	16	115
	自閉症・情緒障害学級	13	13	8	9	15	21	15	9	77
	肢体不自由学級	1	1	1	0	0	2	0	0	3
中学校	知的障害学級	10	10	16	19	23				58
	自閉症・情緒障害学級	9	9	15	22	12				49
	肢体不自由学級	1	1	1	1	0				2

【通級指導】

○言語

(ア) 就学前幼児（見込数）

設置校	指導員数	4歳児	5歳児	計
焼津南小	2	13	17	30
小川小	1	6	11	17
大井川南小	1	3	18	21

(イ) 学齢児童

設置校	教員数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
焼津南小	2	1	2	11	5	2	2	23
小川小	1	3	2	5	1	1	0	12
大井川南小	1	0	4	8	3	2	0	17

○発達（コミュニケーション力）

設置校	教員数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
焼津西小	1	0	2	5	5	6	1	19
焼津南小	2	0	3	7	7	9	5	31
小川小	3	0	2	12	18	12	15	59
大井川南小	1	0	0	5	5	4	4	18
焼津中	1	5	12	1				18
大井川中	1	11	17	5				33

5 チャレンジ教室

様々な事情で学校に登校していない児童生徒の生活環境の改善や自立性・社会性を高めるための体験活動や学習支援を行い、将来の社会的自立に向けての支援を行います。

(1) 基本方針

様々な事情で学校に登校していない児童生徒に対して、個々の状況に応じて体験学習や学習支援等を通して、社会的自立を促していきます。また、児童生徒及び保護者に対する教育相談やカウンセリングを計画的・継続的に行うことを通して、悩みや不安の軽減を図ります。

(2) 名称、開設日及び時間

- 名 称 焼津チャレンジ、大井川チャレンジ、東益津チャレンジ
- 開設日 週5日（土曜・日曜・祝祭日を除く）
- 開設時間 指導時間 9:30 ~ 15:00
教育相談及びカウンセリング 9:00 ~ 17:00

(3) 支援内容

- 学習支援（個別学習活動、グループ学習活動、体験学習活動）
- 人間関係づくり支援（共同制作、調理実習、野外活動、集団カウンセリング、ふれあいタイム等）
- 体力づくり支援（体育活動、遠足）
- 相談活動（個人面談、保護者面談、カウンセリング）

6 中学校英語教育及び小学校外国語活動・外国語科（ALTの活用）

(1) 目 的

中学校ALT及び小学校ALTを活用し、中学校英語教育・小学校外国語活動・外国語科の充実を図ります。

(2) 中学校ALT（4名）

- 4名の中学校ALTが市内の中学校9校を巡回し、T2として英語学習の補助指導を行います。

(3) 小学校ALT（12名）

- 4名の小学校ALTが市内の小学校13校を巡回し、主にT2として3年生・特別支援学級の外国語活動の補助指導を行います。
- 8名の小学校ALTが市内の小学校13校を巡回し、T2として4、5、6年生の外国語活動・外国語科の補助指導を行います。

7 小 学 校

焼津東小学校（創立：明治22年）

教職員数28人

児童数237人

15学級

（所在地）

焼津市栄町5丁目14-1

Tel：054-628-6348

Fax：054-626-1954

（校長名）

小林香代子



1. 教育目標
ねばり強く学び求め 高く広くのびる子
2. 本年度の重点
やってみよう！
～自分から みんなで～
3. 研修主題
『見方・考え方を働かせたやりとりを通して、
資質・能力を高める授業』

焼津西小学校（創立：大正5年）

教職員数44人

児童数707人

23学級

（所在地）

焼津市塩津117-1

Tel：054-628-3064

Fax：054-626-1953

（校長名）

岩田良祐



1. 教育目標
心豊かで つくりだす子
2. 研修主題
仲間ときき合い熱中する子

焼津南小学校（創立：大正15年）

教職員数23人

児童数225人

9学級

（所在地）

焼津市栄町5丁目5-1

Tel：054-628-2321

Fax：054-626-1952

（校長名）

新村弘道



1. 教育目標
やさしさいっぱい かんがえいっぱい
がんばりいっぱい
2. 研修主題
自分から 考え 学びを深める 授業づくり

豊田小学校（創立：明治6年）

教職員数58人

児童数1,019人

35学級

（所在地）

焼津市五ヶ堀之内2

Tel：054-628-3201

Fax：054-626-1951

（校長名）

寺尾正幸



1. 教育目標
心豊かに 学び続けよう
2. 本年度の重点
「かんがえよう！ やってみよう！」
3. 研修主題
自ら考え 学びを深める子
～つなぐ授業～

小川小学校（創立：明治6年）

教職員数53人

児童数719人

29学級

（所在地）

焼津市南小川2丁目
3-5

Tel：054-624-3097

Fax：054-623-5854

（校長名）

宮澤礼子



1. 教育目標
心豊かで たくましい小川っ子の育成
2. 本年度の重点
みつけよう！やってみよう！
3. 研修主題
自ら考え、学びが深まる授業づくり

東益津小学校（創立：明治35年）

教職員数21人

児童数288人

12学級

（所在地）

焼津市石脇上65

Tel：054-628-4427

Fax：054-626-1950

（校長名）

山田宗則



1. 教育目標
CHALLENGE やってみよう！
2. 本年度の重点
『やってみよう！～自分からチャレンジ
みんなでチャレンジ～』
3. 研修主題
自分から「学びたい」みんなで「伝えあい」
思考を深める授業

大富小学校（創立：明治6年）

教職員数46人

児童数573人

26学級

（所在地）

焼津市中根新田637

Tel：054-624-4316

Fax：054-623-5856

（校長名）

新村宏美



1. 教育目標
自ら学び 心豊かな たくましい子
2. 本年度の重点
自分から動こう みんなで動こう
3. 研修主題
自ら 求め 対話し 学びを実感する授業

和田小学校（創立：明治6年）

教職員数30人

児童数244人

11学級

（所在地）

焼津市田尻541

Tel：054-624-4507

Fax：054-623-5855

（校長名）

相馬徹也



1. 教育目標
心豊かで 自ら考え 実践する子
2. 本年度の重点
やさしさいっぱい がんばりいっぱい 自分から
～やってみよう～
3. 研修主題
自分ごととして学ぶ子供の育成

港小学校（創立：昭和45年）

教職員数38人

児童数522人

20学級

（所在地）

焼津市石津港町40-2

Tel：054-624-0210

Fax：054-623-5852

（校長名）

多々良博之



1. 教育目標
「すてきな友だち がんばる自分」
2. 本年度の重点
やってみよう！
～なんでも・みんなと・自分から～
3. 研修主題
ゴールを目指して自ら動き出す授業づくり

黒石小学校（創立：昭和54年）

教職員数41人 児童数685人 23学級

（所在地）

焼津市大住1246

Tel：054-629-4855

Fax：054-626-1937

（校長名）

杉山詳乃



1. 教育目標
豊かな心で たくましく生きる子
2. 本年度の重点
トライ&チャレンジ
～自分のため 相手のため みんなのため～
3. 研修主題
子供が自ら考え、学び合う授業づくり

大井川東小学校（創立：明治5年）

教職員数24人 児童数240人 11学級

（所在地）

焼津市宗高428

Tel：054-622-0010

Fax：054-622-7910

（校長名）

羽山和美



1. 教育目標
ゆたかな心 たくましい力
2. 本年度の重点
み（見つけ） が（考え） く（動く）
～どんどん やってみよう～
3. 研修主題
「できた！」「わかった！」を広げる授業づくり

大井川西小学校（創立：明治22年）

教職員数27人 児童数258人 12学級

（所在地）

焼津市上泉1688-1

Tel：054-622-0049

Fax：054-622-7911

（校長名）

武藤裕子



1. 教育目標
自分らしさが輝く子
2. 本年度の重点
「やってみたい！」「こうなりたい！」
に向かって 挑戦しよう
3. 研修主題
「考えたい」が生まれ 学びを実感する授業

大井川南小学校（創立：明治6年）

教職員数33人 児童数302人 16学級

（所在地）

焼津市吉永490

Tel：054-622-0104

Fax：054-622-7912

（校長名）

福世竜也



1. 教育目標
心豊かに たくましく
2. 本年度の重点
よく考え 自分から やってみる
3. 研修主題
子供が自分から学び、考えを深める授業づくり

8 中 学 校

焼津中学校（創立：昭和22年）

教職員数 35人 生徒数 351人 16学級

（所在地）

焼津市焼津2丁目
10-28

Tel：054-628-7255

Fax：054-626-1936

（校長名）

池田純也



1. 教育目標
自立する焼中生
2. 本年度の重点
たくましく しなやかに
3. 研修主題
「協働的な学び」のある授業
～教科等ならではの見方・考え方を働かせて、
学び合う生徒の育成～

大村中学校（創立：昭和29年）

教職員数 27人 生徒数 366人 12学級

（所在地）

焼津市大村3丁目25-1

Tel：054-628-3851

Fax：054-626-1935

（校長名）

古澤達夫



1. 教育目標
心豊かで、自分の未来を切り拓く生徒の育成
2. 本年度の重点
こころざし、共に高める
3. 研修主題
生徒の「学びたい」があふれる授業
～生徒が選んで、考動して、調整する～

豊田中学校（創立：昭和22年）

教職員数 37人 生徒数 457人 18学級

（所在地）

焼津市小土301-2

Tel：054-627-1166

Fax：054-626-1934

（校長名）

猪山修一



1. 教育目標
自ら学び 豊かな心で たくましく生きる
生徒の育成
2. 本年度の重点
“個性”輝く
3. 研修主題
学びを実感する授業
～個を磨くタイワを通して～

小川中学校（創立：昭和22年）

教職員数 31人 生徒数 338人 15学級

（所在地）

焼津市東小川4丁目
21-1

Tel：054-628-3777

Fax：054-626-1932

（校長名）

鷺野 誠



1. 教育目標
志を育む学校
2. 本年度の重点
自ら動く！～Let' s Try！～
3. 研修主題
生徒が学びを調整・実感できる授業

東益津中学校（創立：昭和22年）

教職員数 22人 生徒数 201人 7学級

（所在地）

焼津市中里416

Tel：054-628-4428

Fax：054-626-1931

（校長名）

寺田 徹



1. 教育目標
自律・共生
2. 本年度の重点
CHALLENGE やってみよう！
3. 研修主題
生徒が本気になる授業

大富中学校（創立：昭和22年）

教職員数 51人 生徒数 660人 24学級

（所在地）

焼津市中根1-1

Tel：054-624-4329

Fax：054-623-5851

（校長名）

曾根祥紀



1. 教育目標
「誠意・意思・自立・強さ」
2. 本年度の重点
「【愛】ありがとういっぱい」
3. 研修主題
探求活動を取り入れた単元構想を通して、対話的に深く追求し、「学びがい」を味わえる授業

和田中学校（創立：昭和22年）

教職員数 23人 生徒数 140人 6学級

（所在地）

焼津市田尻1984

Tel：054-624-4339

Fax：054-623-5850

（校長名）

山崎健史



1. 教育目標
心豊かで、自ら実践する生徒
2. 本年度の重点
「チャレンジ！」
～考え、行動する和田中生！～
3. 研修主題
自走する学び
～和田中生に最適化された授業づくり～

港中学校（創立：昭和48年）

教職員数 25人 生徒数 283人 10学級

（所在地）

焼津市田尻北584

Tel：054-624-6010

Fax：054-623-5853

（校長名）

石原良彦



1. 教育目標
夢の実現に向けて、自ら考え行動する
2. 本年度の重点
愛あふれる港中
3. 研修主題
深い学びのある授業

大井川中学校（創立：昭和33年）

教職員数 40人 生徒数 519人 19学級

（所在地）

焼津市下江留191

Tel：054-622-0038

Fax：054-622-7913

（校長名）

中野直幸



1. 教育目標
ともに たくましく～自分から 自分たちで～
2. 研修主題
対話を通して 考えが深まる

9 市立学校施設概要

(令和7年4月1日現在)

学校名	校舎 (㎡)				屋内運動場(㎡)		プール(m)		校地 (㎡)	
	鉄筋	鉄骨	木造	計	鉄筋	鉄骨	大	小	建物敷地	運動場
小学校	77,954	941	0	78,895	6,523	7,695			118,329	117,891
焼津東小学校	5,648	31		5,679	1,032		25×11.8	15×9	6,390	7,398
焼津西小学校	6,550	75		6,625	1,123		25×13	15×9	8,555	9,235
焼津南小学校	5,378	15		5,393	947		25×13	10×8	7,750	6,665
豊田小学校	8,765	57		8,822		1,100	25×13	10×6	8,891	9,897
小川小学校	6,376	148		6,524	1,152		25×12	12×8	11,002	7,960
東益津小学校	6,145			6,145	1,100		25×13.6	13.9×9	10,415	11,544
大富小学校	6,936	105		7,041		1,100	25×13	13×9	9,254	8,401
和田小学校	4,715	80		4,795		1,041	25×11.8	14×10	5,537	6,910
港小学校	5,984	181		6,165		1,100	25×15	15×9	10,445	12,519
黒石小学校	5,344	103		5,447		1,100	25×13	10×8	9,172	9,645
大井川東小学校	4,457	33		4,490		1,134	25×15.4	13×9	8,742	10,520
大井川西小学校	5,126	41		5,167		1,120	25×13	10×8	9,317	8,997
大井川南小学校	6,530	72		6,602	1,169		25×15.7	(台形)	12,859	8,200
中学校	48,181	585	67	48,833	7,376	6,203			83,858	129,646
焼津中学校	5,894	64		5,958		1,678	50×18.4		13,147	15,985
大村中学校	4,735	16	67	4,818	1,349		50×18.4		8,189	14,351
豊田中学校	5,086	78		5,164		1,355	50×18.4		7,592	14,407
小川中学校	4,057	153		4,210		1,359	50×18.4		9,232	12,661
東益津中学校	4,992	100		5,092		1,323	50×18.4		7,870	14,407
大富中学校	6,725	134		6,859	1,441	100	50×18.4		10,704	12,307
和田中学校	4,173	26		4,199	1,432		50×18.4		6,554	10,748
港中学校	5,196	6		5,202	1,518		50×18.4		8,547	16,577
大井川中学校	7,323	8		7,331	1,636	850	50×18.4		12,985	17,241

10 児童・生徒一覧

【小学校】上段：知的 中段：情緒 （港小、港中：肢体） 下段：通常学級

（令和7年5月1日現在）

学校名	児童数							学級数							
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	計
焼津東小学校	1 2 27	2 2 30	5 2 33	9 6 39	2 3 37	3 2 32	22 17 198	1	1	1	2	2	1	7	15
焼津西小学校	91	98	120	112	124	162	707	3	3	4	4	4	5		23
焼津南小学校	37	32	39	35	35	47	225	2	1	2	1	1	2		9
豊田小学校	4 1 169	2 1 150	3 3 171	3 5 173	1 2 179	1 2 151	14 12 993	5	5	5	5	6	5	4	35
小川小学校	5 1 118	2 2 115	5 4 123	3 1 115	5 1 105	6 2 108	24 11 684	4	4	4	4	3	4	6	29
東益津小学校	38	49	44	45	50	62	288	2	2	2	2	2	2		12
大富小学校	3 2 76	2 4 80	5 3 83	9 5 90	3 5 104	3 5 91	25 24 524	3	3	3	3	3	3	8	26
和田小学校	36	27	36	48	39	58	244	2	1	2	2	2	2		11
港小学校	5 1 80	82	1	1 2 94	3 69		10 3 509	3	3	3	3	2	3	3	20
黒石小学校	109	95	135	115	118	113	685	4	3	4	4	4	4		23
大井川東小学校	28	43	41	39	43	46	240	1	2	2	2	2	2		11
大井川西小学校	1 31	41	1 42	1 49		2 47	4 253	1	2	2	2	2	2	1	12
大井川南小学校	1 2 44	4 41	2 42	5 43	2 52	1 52	15 13 274	2	2	2	2	2	2	4	16
小計	20 8 1	10 9	22 15	31 21 2	16 15	16 9	115 77 3								
合計	884	883	991	997	1,033	1,066	5,824								
合計	913	902	1,028	1,051	1,034	1,091	6,019	33	32	36	36	35	37	33	242

【中学校】

学校名	生徒数							学級数							
	1年	2年	3年				計	1年	2年	3年				特支	計
焼津中学校	5 2 105	7 6 97	9 3 117				21 11 319	3	3	4				6	16
大村中学校	106	134	126				366	4	4	4					12
豊田中学校	2 150	1 7 149	1 3 144				4 10 443	5	5	5				3	18
小川中学校	5 3 108	4 4 106	4 4 100				13 11 314	4	4	3				4	15
東益津中学校	67	77	57				201	2	3	2					7
大富中学校	2 8 221	5 4 186	7 1 226				14 13 633	7	6	7				4	24
和田中学校	50	51	39				140	2	2	2					6
港中学校	1 92	1 100	89				2 281	3	3	3				1	10
大井川中学校	2 2 153	2 1 176	2 1 180				6 4 509	5	6	6				2	19
小計	16 15 1	19 22 1	23 12				58 49 2								
合計	1,052	1,076	1,078				3,206								
合計	1,084	1,118	1,113				3,315	35	36	36				20	127

11 児童・生徒数の推移

平成31年度以降の児童・生徒・学級数の推移

()内：特別支援学級の児童・生徒・学級数
下段：通常学級の児童・生徒・学級数

区分	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
学校名	人数	級	人数	級	人数	級	人数	級	人数	級	人数	級	人数	級
焼津東小学校	(40) 294	(7) 12	(33) 273	(5) 12	(35) 276	(6) 12	(47) 258	(8) 10	(44) 247	(7) 10	(41) 228	(7) 9	(39) 198	(7) 8
焼津西小学校	1,053	34	1,020	32	951	29	901	28	842	27	755	24	707	23
焼津南小学校	239	11	240	11	238	10	236	10	242	11	226	10	225	9
豊田小学校	(6) 997	(2) 31	(9) 975	(2) 31	(13) 986	(2) 32	(18) 974	(4) 31	(24) 989	(4) 31	(20) 983	(4) 31	(26) 993	(4) 31
小川小学校	(31) 639	(5) 21	(29) 631	(5) 20	(32) 643	(5) 21	(31) 657	(5) 21	(32) 678	(5) 22	(33) 678	(6) 23	(35) 684	(6) 23
東益津小学校	450	16	431	15	414	15	375	14	351	14	322	13	288	12
大富小学校	(35) 726	(5) 24	(32) 679	(5) 22	(36) 671	(6) 21	(38) 620	(6) 20	(41) 589	(8) 19	(45) 571	(7) 20	(49) 524	(8) 18
和田小学校	352	12	336	12	327	12	315	12	301	12	272	11	244	11
港小学校	(3) 600	(1) 19	(2) 572	(1) 18	(2) 547	(1) 18	(3) 545	(1) 18	(4) 534	(1) 18	(3) 521	(1) 18	(13) 509	(3) 17
黒石小学校	691	22	671	23	681	23	693	23	709	23	699	23	685	23
大井川東小学校	403	13	377	13	348	13	298	12	279	12	270	12	240	11
大井川西小学校	(5) 339	(1) 12	(4) 323	(1) 12	(3) 327	(1) 12	(2) 322	(1) 12	(4) 304	(1) 12	(4) 276	(1) 12	(5) 253	(1) 11
大井川南小学校	(18) 400	(4) 14	(16) 363	(3) 13	(14) 343	(3) 12	(14) 333	(3) 12	(15) 311	(3) 12	(24) 295	(4) 12	(28) 274	(4) 12
小学校計	(138) 7,183	(25) 241	(125) 6891	(22) 234	(135) 6,752	(24) 230	(153) 6,527	(28) 223	(164) 6,376	(29) 223	(170) 6,096	(30) 218	(195) 5,824	(33) 209

焼津中学校	(24) 349	(5) 12	(28) 348	(5) 12	(22) 349	(4) 12	(26) 337	(4) 11	(24) 338	(4) 12	(34) 319	(5) 11	(32) 319	(6) 10
大村中学校	366	12	376	13	404	13	409	13	392	12	389	12	366	12
豊田中学校	491	16	477	15	486	15	(2) 477	(1) 15	(7) 470	(2) 15	(13) 462	(2) 15	(14) 443	(3) 15
小川中学校	(15) 305	(3) 10	(23) 305	(4) 10	(26) 289	(4) 9	(20) 289	(4) 9	(25) 285	(4) 9	(23) 298	(4) 10	(24) 314	(4) 11
東益津中学校	201	6	199	7	196	7	201	7	194	7	209	8	201	7
大富中学校	(22) 600	(4) 19	(25) 635	(4) 20	(21) 635	(3) 20	(21) 659	(4) 21	(24) 631	(4) 20	(29) 636	(5) 20	(27) 633	(4) 20
和田中学校	186	8	205	8	177	6	162	6	146	6	145	6	140	6
港中学校	(3) 332	(1) 11	(4) 299	(1) 10	(3) 309	(1) 10	(1) 291	(1) 10	(2) 271	(1) 9	(1) 275	(1) 9	(2) 281	(1) 9
大井川中学校	(16) 564	(3) 18	(21) 594	(3) 19	(17) 574	(3) 18	(18) 568	(3) 18	(12) 534	(3) 16	(14) 532	(3) 16	(10) 509	(2) 17
中学校計	(80) 3,394	(16) 112	(101) 3,438	(17) 114	(89) 3,419	(15) 110	(88) 3,393	(17) 110	(94) 3,261	(18) 106	(114) 3,265	(20) 107	(109) 3,206	(20) 107

12 児童・生徒の体格・体力

児童・生徒の体格（本市平均＝令和6年度、県及び全国平均＝令和5年度）

区分	性別	市・県 全国別	小学校						中学校		
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
身長	男	本市	116.5	122.1	128.0	133.2	139.3	145.9	152.6	161.0	164.9
		県	116.6	122.7	128.4	133.7	139.8	145.3	153.6	160.8	165.9
		全国	116.9	123.0	128.6	134.1	139.6	146.2	154.2	161.1	166.0
	女	本市	114.7	121.1	127.2	133.5	140.4	146.8	151.8	154.3	155.7
		県	115.3	121.9	127.5	134.0	141.2	147.0	151.8	154.8	156.5
		全国	116.0	122.1	127.8	134.4	141.4	147.9	152.3	155.0	156.4
体重	男	本市	21.3	23.7	27.5	30.6	35.1	39.5	43.7	50.9	53.9
		県	21.7	24.3	27.9	31.2	35.8	39.4	44.9	49.9	54.4
		全国	21.6	24.5	27.8	31.5	35.3	39.9	45.8	50.6	54.9
	女	本市	20.6	23.6	26.5	30.6	34.6	39.4	43.7	46.7	49.0
		県	20.7	24.1	27.0	30.6	35.5	39.3	44.0	47.2	49.5
		全国	21.2	24.0	27.0	31.0	35.3	40.2	44.5	47.6	49.8

新体力テスト（本市及び県平均＝令和6年度）

単位：％

小学校	市・県	A	B	C	D	E
5年男子	本市	7.2	22.5	32.2	24.3	13.8
	県	9.9	22.4	32.7	22.7	12.3
5年女子	本市	11.9	19.3	32.4	25.2	11.2
	県	13.5	25.1	33.3	20.6	7.5
6年男子	本市	10.1	25.9	27.4	25.1	11.6
	県	10.6	26.7	30.5	22.8	9.4
6年女子	本市	7.0	27.4	34.4	21.9	9.2
	県	10.7	27.6	32.7	22.2	6.8

ABC%
61.9
64.9
63.6
71.9
63.4
67.9
68.9
71.1

中学校	市・県	A	B	C	D	E
1年男子	本市	6.7	24.2	34.2	25.5	9.4
	県	7.4	25.2	34.8	25.3	7.2
1年女子	本市	29.8	33.3	24.1	11.6	1.2
	県	31.7	32.8	24.1	10.1	1.3
2年男子	本市	15.2	33.3	28.7	17.5	5.3
	県	14.1	30.3	33.0	17.1	5.4
2年女子	本市	27.0	29.2	27.7	14.3	1.8
	県	30.3	30.9	25.4	11.1	2.3
3年男子	本市	20.8	32.6	29.8	13.2	3.6
	県	25.6	30.1	27.8	12.4	4.2
3年女子	本市	28.7	29.1	26.4	13.8	1.9
	県	32.9	27.8	25.6	11.2	2.5

ABC%
65.1
67.5
87.1
88.6
77.2
77.4
83.9
86.6
83.2
83.4
84.3
86.3

(参考) 特別支援学級・通級指導教室の配置状況

令和7年5月1日

学校名	知的障害 学級	自閉症・情緒 障害学級	肢体不自由 学級	通級指導教室 言語	通級指導教室 発達
小学校					
焼津東小学校	●	●			
焼津西小学校					●
焼津南小学校				●	●
豊田小学校	●	●			
小川小学校	●	●		●	●
東益津小学校					
大富小学校	●	●			
和田小学校					
港小学校	●		●		
黒石小学校					
大井川東小学校					
大井川西小学校	●				
大井川南小学校	●	●		●	●
中学校					
焼津中学校	●	●			●
大村中学校					
豊田中学校	●	●			
小川中学校	●	●			
東益津中学校					
大富中学校	●	●			
和田中学校					
港中学校			●		
大井川中学校	●	●			●

13 就学の援助

就学が経済的に負担となる家庭に対し、平等に教育を受けられるよう、小・中学校にかかる教育費の援助を行う。

1 就学援助事業

(1) 要保護及び準要保護児童生徒就学援助費

経済的な理由によって、小・中学校の教育費の負担が困難な家庭を対象に援助を行い、義務教育の円滑な実施を目的とする。

要保護、準要保護により異なるが、支給対象となる経費は下記のとおり。

- 学用品費 各教科及び特別活動の学習に必要とされる学用品代
- 通学用品費 通常必要とする通学用品代
- 新入学児童生徒学用品費等 新入学児童又は生徒が通常必要とする学用品、通学用品代
- 修学旅行費 交通費、宿泊費、見学科並びに均一に負担すべきこととなる記念写真代、医薬品代、旅行傷害保険料等
- 校外活動費 学校行事としての校外活動に参加するために直接必要な交通費及び見学科
- 学校給食費 保護者が負担する学校給食費
- 通学費 最も経済的な通常の経路・方法により通学する場合の交通費
(特別支援学級に在籍する児童生徒に限る)
- 医療費 トラコーマ、結膜炎、白癬、疥癬、膿痂疹、中耳炎、慢性副鼻腔炎、アデノイド、う歯、寄生虫病の治療費

(2) 特別支援教育就学奨励費

小・中学校の特別支援教育への就学の事情にかんがみ、児童又は生徒の就学による保護者等の経済的負担を軽減し、もって特別支援教育の普及・奨励を図ることを目的とする。

保護者の収入額により異なるが、支給対象となる経費は下記のとおり。

- 学用品費 通常必要とする学用品の購入費の半額
- 通学用品費 通常必要とする通学用品の購入費の半額
- 新入学児童生徒学用品費等 小・中学校に新たに入学する児童又は生徒が通常必要とする学用品・通学用品の購入費の半額
- 修学旅行費 交通費、宿泊費、見学科並びに均一に負担すべきこととなる記念写真代、医薬品代、旅行傷害保険料等の半額
- 校外活動費 学校外に教育の場を求めて行われる学校行事としての活動に参加するために直接必要な交通費、宿泊費及び見学科の半額
- 学校給食費 保護者が負担する学校給食費の半額
- 通学費 最も経済的な通常の経路・方法により通学する場合の交通費の額
- 職場実習交通費 (中学生のみ) 学校外の事業所等において職場実習に参加する場合に要する交通費の額
- 交流及び共同学習交通費 他の特別支援学級の児童又は生徒等と共に集団活動を行う場合に必要な交通費の額

VIII 学校給食

1 令和7年度の活動目標

- (1) 学校給食が、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、児童生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすことから、学校給食及び学校給食を活用した食に関する指導の実施により学校における食育の推進を図る。
- (2) 地場産物の活用を推進することにより、児童生徒の地域の食文化や産業に対する理解を深め、ふるさとへの感謝の心を育てていく。
- (3) 残量（食べ残し）を減らすため、献立や味付けなどの調理方法を工夫する。
- (4) より安全・安心な給食作りを行うため、学校給食センターの施設や衛生管理の改善充実を図る。

2 学校給食の目標（学校給食法第2条）

- (1) 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- (2) 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
- (3) 学校生活を豊かにし、明るい社交性を養うこと。
- (4) 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- (5) 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んじる態度を養うこと。
- (6) 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- (7) 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

3 焼津市学校給食センターの施設概要

焼津市及び大井川町は、学校給食センターの建設及び管理運営に関する事務を共同で処理するため、一部事務組合を昭和58年4月14日に設立した。平成20年10月31日、焼津市と大井川町の合併により組合を解散し、現在の名称に改称した。

- | | |
|----------|---|
| (1) 開設 | 昭和59年5月21日 |
| (2) 名称 | 焼津市学校給食センター TEL 624-6660 FAX 624-7680 |
| (3) 所在地 | 焼津市大島1746番地 |
| (4) 敷地面積 | 8,479.21㎡ |
| (5) 建築面積 | 2,962.60㎡ 延床面積 3,664.57㎡
センター棟 1階 2,943.85㎡ 2階 720.72㎡ |
| (6) 構造 | 鉄骨・鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建 |
| (7) 調理能力 | 22,000食（11,000食×2棟）（建築当初） |

4 給食数

令和7年5月1日現在

	学校数	児童生徒数	教職員数	給食数
小 学 校	13	5,973	422	6,395
中 学 校	9	3,241	258	3,499
合 計	22	9,214	680	9,978

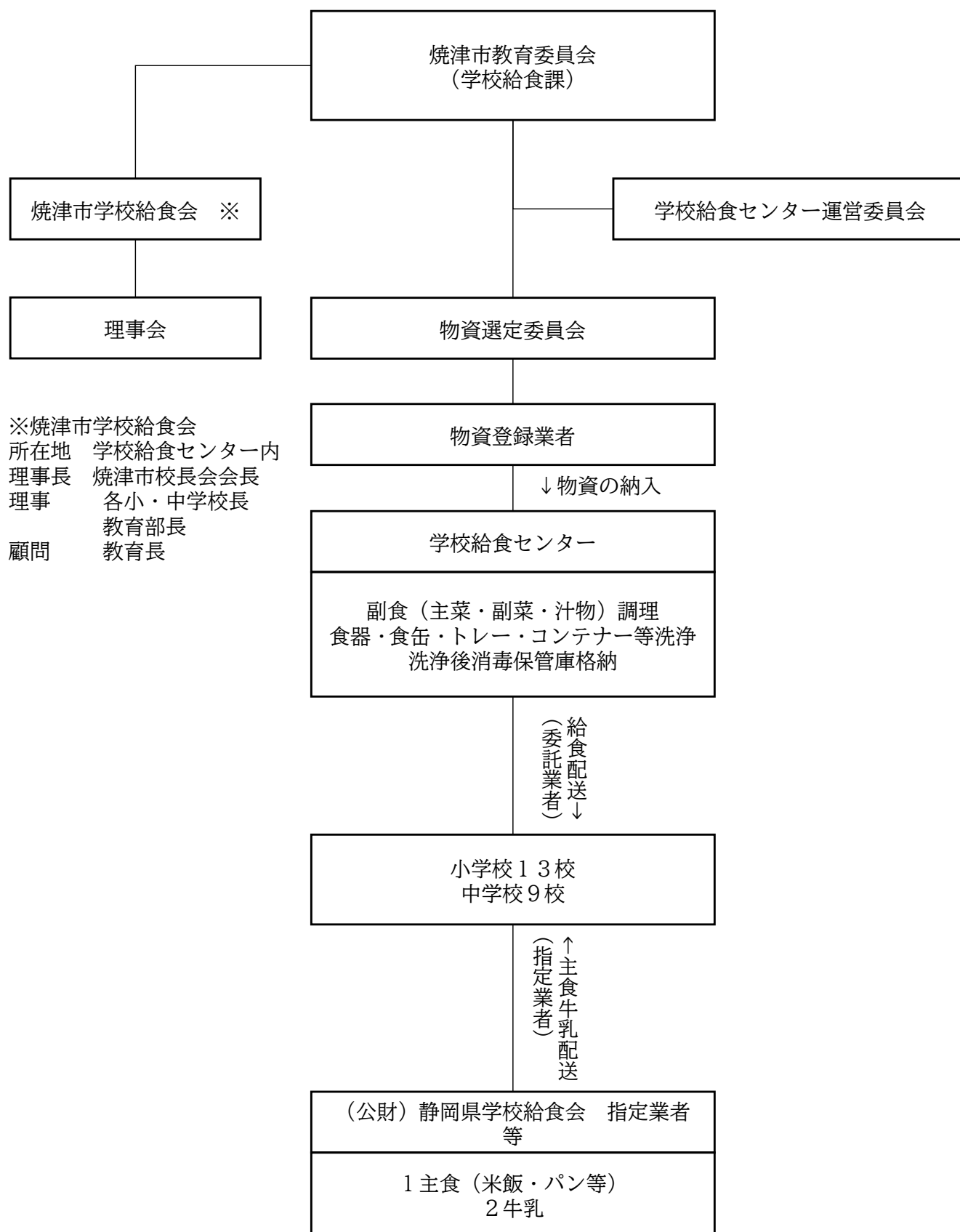
5 年度別給食数の推移

年度	S59		R 1		R 2		R 3		R 4		R 5		R 6	
小・中別	学級数	給食数	学級数	給食数	学級数	給食数	学級数	給食数	学級数	給食数	学級数	給食数	学級数	給食数
小 学 校	342	14,088	241	7,746	234	7,426	230	7,281	223	7,077	223	6,938	218	6,661
中 学 校	144	6,548	112	3,704	114	3,748	110	3,714	110	3,690	107	3,557	107	3,556
小 計	486	20,636	353	11,450	348	11,174	340	10,995	333	10,767	330	10,495	325	10,217
センター		48		84		84		84		84		84		84
合 計	486	20,684	353	11,534	348	11,258	340	11,079	333	10,851	330	10,579	325	10,301

6 給食費

	小学校	中学校
月 額	4,200円	4,900円
年 額	46,200円	53,900円
徴 収 回 数	11回（ヶ月）	11回（ヶ月）
給食実施回数	年180回	年178回
	（月平均16.36回）	（月平均16.18回）
1 食 単 価	256.66円	302.8円

7 業務のフローシート



8 給食実施の沿革

明治 22 年	山形県鶴岡町（現鶴岡市）で学校給食が始まる。
昭和 7 年	学校給食に国庫補助開始
昭和 23 年	学校給食は、教育の一環として位置づけられる。 和田小でミルク・副食の給食開始
昭和 24 年	小川小で副食の給食開始
昭和 27 年	和田小の給食中止
昭和 28 年	小川小の給食中止
昭和 29 年	学校給食法施行（学校給食を教育活動として位置づけされる）
昭和 30 年	日本学校給食会法施行
昭和 32 年	和田小でミルク給食開始
昭和 33 年	小川小・大村中でミルク給食開始
昭和 34 年	焼津東小・焼津南小・東益津小・大富小・豊田中でミルク給食開始
昭和 36 年	大井川南小で完全給食開始
昭和 38 年	大井川東小・大井川西小で完全給食開始
昭和 38 年	焼津西小・焼津南小・小川小で完全給食開始
昭和 39 年	豊田小・東益津中でミルク給食開始
昭和 39 年	大井川中で完全給食開始
昭和 40 年	焼津東小・東益津小・豊田小・大富小・和田小・東益津中・豊田中・大富中・和田中で完全給食開始
昭和 40 年	焼津中で混合乳給食開始
昭和 40 年	豊田・東益津・大富・和田小中学校で共同調理を開始
昭和 45 年	国より米飯給食実験開始
昭和 45 年	焼津中・大村中・小川中・港小で完全給食開始
昭和 45 年	焼津共同調理場設置（焼津中）
昭和 47 年	南部共同調理場設置（港小）
昭和 48 年	西部共同調理場設置（大富中）
昭和 51 年	米飯給食開始
昭和 55 年	焼津・大井川学校給食組合設立許可 焼津市 5 調理場（東益津・焼津西・焼津共同・南部共同・西部共同） 大井川町 4 調理場（大井川東・大井川西・大井川南・大井川中） を 1 調理場のセンター方式に
昭和 59 年	焼津・大井川学校給食組合立学教給食センター稼働 給食費 小学生 月額3,100円 中学生 月額3,600円
昭和 61 年	給食費 小学生 月額3,200円 中学生 月額3,700円に改定
平成 元 年	給食費 小学生 月額3,300円 中学生 月額3,800円に改定
平成 9 年	給食費 小学生 月額3,800円 中学生 月額4,300円に改定
平成 19 年	牛乳パックリサイクルを全校で開始
平成 20 年	焼津市と大井川町の合併により組合解散、焼津市学校給食センターへ改称
平成 21 年	改正された学校給食法施行
平成 26 年	給食費 小学生 月額4,200円 中学生 月額4,900円に改定
令和 4 年	物価高騰対策として10月から1食あたり10%（小学生26円、中学校31円）国の地方創生臨時交付金を活用。児童生徒分のみ。
令和 5 年	物価高騰対策事業（新規事業）学校給食費の改定を行わず、質・量ともに確保した学校給食を提供するため、1食あたり18%（小学生46円、中学生55円）国の地方創生臨時交付金及び市費を活用。児童生徒分のみ。
令和 6 年	物価高騰対策事業（継続事業）1食あたり小学生60円、中学生92円 国の地方創生臨時交付金及び市費を活用。児童生徒分のみ。
令和 7 年	物価高騰対策事業（継続事業） 内容は令和6年度と同様。